

# SCOUTING

2019  
No.731  
5

特集

## 天皇陛下御即位 記念アルバム

2019年度事業計画

第46回全国ボーイスカウト写真コンテスト



SCOUTS  
Creating a Better World

第37回(平成30年度)富士スカウト代表表敬(首相官邸)



そなえよつねに  
ボーイスカウト

CONTENTS

02 天皇陛下御即位を記念して

10 天皇陛下御即位記念 奉祝メッセージ

14 2019年度事業計画

17 ニッポン全国元気団紹介  
奈良県連盟 奈良第18団

18 カブスカウト対象  
数量限定“新チャレンジ章”

19 第13回日本アグーナリー

19 第37回(平成30年度)富士スカウト代表表敬

20 第46回全国ボーイスカウト写真コンテスト  
入賞作品発表!!

22 野外活動のための安心・安全講座  
2017(平成29)年度  
そなえよつねに共済 事故データ分析

24 2019年度全国大会

24 セーフ・フロム・ハーム  
「指導者バディルール」について

25 エッセイ

25 信仰奨励

26 ローカルホットライン

27 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2019

28 スカウティングと観察・推理 ①  
観察し推理する力。  
それが「冒険」へのパスポート。

30 維持会員

30 日本連盟情報

31 自然災害への支援状況報告

32 スカウトショップ

# 天皇陛下御即位を

## 記念して

2019年5月1日、皇太子徳仁親王殿下が天皇陛下に御即位されました。

昭和天皇がイギリス・エジンバラにてベーデン・パウエル卿を引見され、ボーイスカウト運動に深く関心を寄せられたことから、日本のボーイスカウトと皇室は深いつながりをもつようになりました。

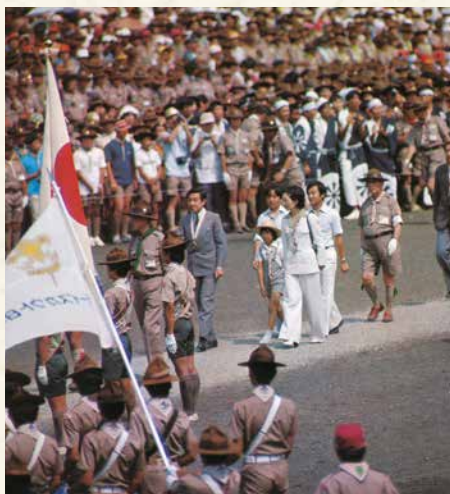
自然や山がお好きな皇太子徳仁親王殿下は、昭和天皇が心をお寄せになったボーイスカウトへのご理解を深められ、多くの大会にご台臨いただきました。今号では、天皇陛下御即位を記念し、皇太子徳仁親王殿下の貴重なお写真とともにボーイスカウトとのつながりをご紹介します。







第7回日本ジャンボリー（1978）



## 天皇陛下への弥栄

天皇陛下御即位にあたり、ボーイスカウト日本連盟は、こぞってお祝いを申し上げます。令和の時世がこれまで以上に平和で、すべての国民が幸福な時代を迎えることができるよう心からお祈りいたします。

### I スカウトの誕生

ボーイスカウトの日本における誕生は、先の昭和天皇の時代であった。1921(大正10)年に、当時の皇太子裕仁親王殿下(昭和天皇)がイギリスをご訪問。その際、殿下はバーデン・パウエル卿を引見され、イギリスのスカウト運動について話を聞き、たいへん興味をもたれた。

これが契機となって、スコットランドのエジンバラで開催されたボーイスカウト集会に参加し、熱心にご視閲されたという。このことが、日本のボーイスカウト誕生のほぼ決定的な引き金となって、少年団日本連盟の結成[1922(大正11)年4月13日]へと向かうことになったのである。その意味で、日本連盟は昭和天皇が生みの親であったといっても過言ではない。戦前の軍部主導の世にあって、あれこれ問題はあったとはいえ、比較的平穏にスカウト運動が継続したのも、昭和天皇の強力な陰の庇護のおかげと思われる。

### II 皇太子徳仁親王殿下への感謝

徳仁親王と雅子妃、愛子内親王の時代とは平成時代ということであるが、ボーイスカウト日本連盟は両殿下の破格の精神的な応援をお受けしてきた。

私が日本連盟の理事長となってから現在に至る期間だけでも、第15回日本ジャンボリー、日本連盟創立90周年中央式典、第16回日本ジャンボリー、第23回世界スカウトジャンボリー、第17回

日本スカウトジャンボリー(各大会の開催地等は本誌5頁参照)のすべてにご台臨いただき、スカウトたちを激励するお言葉を賜ったのみか、会場内をあちこち見て回られ、実に適切なご質問やご意見をされて、スカウトたちを感激させられたのである。

かつて私は、この皇太子殿下に接し、ぜひとも会場内で殿下に「弥栄」の三唱をもってわれわれの気持ちをお伝えしたいと考えた。しかし慣例上、会場内での弥栄の斉唱は禁止されているということであった。そこで、川勝平太静岡県知事・静岡県連盟連盟長とはかつて、殿下のご退出時にふたりで舞台上に駆け上がり、「全員起立、弥栄準備。皇太子殿下のますますのご健康と、皇室のますますのご繁栄を祈って、弥栄を三唱します。皇太子殿下、弥栄、弥栄、弥栄！」と弥栄を三唱した。この祝声を最初にあげた第15回日本ジャンボリー以降、この弥栄三唱は現在も続き、慣例となっている。

また、毎年正月の3日には、東宮御所にお年賀に出向き、皇太子ご一家に日本のボーイスカウトを代表してご挨拶をしている。皇太子殿下には、雅子妃、愛子内親王のお3人でいつも気持ちよくわれわれの参賀をお受けいただき、山の話、キャンプの話を楽しみにしていただいている。いつの日にか、両陛下をお招きして、ご一緒に1週間ほど山中でキャンプを楽しんでいただきたいものである。

ヨーロッパでは、多くの場合、各国の国王やそれに準ずる方々がジャンボリーに出席されるだけでなく、連盟の総裁などを務められている。日本でも天皇陛下や皇太子殿下が名誉総長や名誉総裁になっていただけないものであろうか。それができれば、未来を担う若きスカウトたちがどんなに鼓舞されるのであろうか。

### III 天皇陛下として

われわれが敬愛する皇太子殿下が天皇陛下に御即位された。どんなに嬉しいことか。われわれもボーイスカウトとして、この令和の時代をベターワールドとするために、力を尽くして励まねばならないと思う。

もとより、「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基づく」ものである。それゆえ、われわれボーイスカウトもまた、国民のひとりとして天皇制を支えるものにすぎない。しかし、建前はそうであるとはいえ、われわれボーイスカウトはそれ以上の熱情をもって今上天皇に対して、敬愛の念を深めている。われわれは、この御即位にあたり、これまで以上に日本国と日本国民の在り方をボーイスカウト精神でもって考えていかなければならない。では、どう考えるか。それが当面のボーイスカウトの大きな課題であろう。

上皇となられた先の天皇は、戦没者の慰霊に全力を尽くされた。立派なことである。今上天皇もきっとその志を受け継ぎ、そのお仕事を継続されることであろう。しかし、忘れてはならないもう一つのお仕事がある。それは、未来を見つめて、若者たちを激励することである。若者たちに希望という生きる力を吹き込むことである。

天皇陛下には、どうか若者たちに希望という大きな力を与えていただくよう、そしてこれまで同様、ゆるがぬまっすぐな視線で未来を直視されますようお願い申し上げます。

天皇陛下、弥栄！ 弥栄！！ 弥栄！！！！

日本連盟理事長

奥島 孝康





第8回日本ジャンボリー (1982)



*Hello I am from America.  
 Let's have a fun time at the jamboree.  
 Andy Ogawa*  
 こんにちは!  
 こんにちは。 Naruhito

第9回日本ジャンボリー (1986)

## 皇太子殿下と共に

ボーイスカウト日本連盟創立60周年記念としての第8回日本ジャンボリー (1982) が終了したのちの日本連盟刊行冊子『浩宮さまと共に』の中で、(故) 渡邊昭総長は「総長のことば」として、「第8回日本ジャンボリーには、浩宮殿下をお迎えすることとなり、かつスカウトと共に野営生活をなさるとの思召し<sup>おぼしめ</sup>を賜り、関係者一同感激いたした次第であります。殿下と野営生活をともにするスカウトは広く全国各地のスカウトをと考え、各サブキャンプから1名の推薦を受け、杉原正中央審議会議員を隊長に指名して2我班からなるスカウト隊を編成し、この隊によってサイトの整備など一切の準備が行われました」と書かれておられます。

私は巻末の「特別任務を終えて」の中で、「わずかに2日間の短い期間でしたがともにキャンプ生活をさせていただきましたことは、スカウトたちにとって殿下が同世代に共に生きる若者、また博学・聡明な若い皇族、特に身近な存在として出会うことができ、本当に素晴らしいことでした」と書きました。

その年(1982年)の11月7日。新宿・京王プラザホテルでの60周年記念式典にご台臨の際、当時の皇太子同妃両殿下に式典後拝謁し、「浩宮が英国留学前にスカウトキャンプの良い経験をさせていただいた」との労いのおことばを賜りました。また、当年度に始まる富士スカウト顕彰で東宮御所に参拝して皇太子殿下からの激励をお受けしました。この行事は、浩宮殿下に引き継がれ、多いときには150人を超えるスカウトを小グループに分け、親しく接していただき、30分以上も予定時間を超過して東宮職の方々にご心配をおかけしたことが度々あります。スカウト一人ひとりにお声がけいただく殿下の温かいお人柄に毎回感激しております。

また一方で日本ジャンボリーでの接伴隊(後に「梓友隊<sup>しゅうゆう</sup>」と命名される)のメンバーが、1983年の正月3日に東宮御所にお招きを受け、懇談の機会を得ました。その折に殿下から「東宮御所でもキャンプができます」とのお話をいただき、4月9日から2日間、殿下と梓友隊メンバーによるキャンプが行われました。設営や工作物に大変興味をもたれ、設営から撤営まですべてをご一緒しました。追跡ハイク、キャンプファイア、またカブスカウトのプログラムでのゲーム「蛇の皮むき」にも参加されたことが思い起こされます。お帰りの際の「スカウトキャンプは奥深いですね」というおことばは忘れることができません。

翌年、昭和天皇が「ボーイスカウトのキャンプに加わりしときの話 浩宮より聞きしことあり」というお歌を詠まれました。スカウト運動と皇室との深い繋がりを想い、このことにご尽力くださった曾我剛東宮侍従(当時)と(故) 渡邊総長に心から感謝申し上げます。

日本連盟顧問・先達  
梓友隊隊長

杉原 正





第9回日本ジャンボリー（1986）

## 大会等へのご台臨の記録

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 1978 (昭和53) 年 8月6日       | 第7回日本ジャンボリー [静岡・御殿場]   |
| 1982 (昭和57) 年 8月4日～5日    | 第8回日本ジャンボリー [宮城・南蔵王] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場内御一泊野営</span>                                |
| 1986 (昭和61) 年 8月2日～3日    | 第9回日本ジャンボリー [宮城・南蔵王] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場内御一泊野営</span>                                |
| 1987 (昭和62) 年 8月1日       | 第5回日本アグーナリー [静岡・御殿場]   |
| 1988 (昭和63) 年 7月31日～8月2日 | 第2回シニアスカウト大会 [静岡・朝霧高原] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">富士登山プログラム参加 山小屋御一泊</span>                    |
| 1990 (平成2) 年 8月3日～4日     | 第10回日本ジャンボリー [新潟・妙高高原] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場外御一泊</span>                                |
| 1991 (平成3) 年 7月28日       | 第6回日本アグーナリー [東京・代々木]   |
| 1994 (平成6) 年 8月5日        | 第11回日本ジャンボリー [大分・久住高原]   |
| 1997 (平成9) 年 10月12日      | 日本連盟創立75周年記念式典 [東京・日比谷公会堂および帝国ホテル]   |
| 1998 (平成10) 年 8月5日       | 第12回日本ジャンボリー [秋田・森吉山麓高原]   |
| 2002 (平成14) 年 8月5日～6日    | 第13回日本ジャンボリー / 第23回アジア太平洋地域ジャンボリー<br>[大阪・舞洲スポーツアイランド] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場外御一泊</span> |
| 2003 (平成15) 年 8月3日～4日    | 第9回日本アグーナリー [石川・珠洲] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場外御一泊</span>                                   |
| 2006 (平成18) 年 8月5日～6日    | 第14回日本ジャンボリー [石川・珠洲] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場外御一泊</span>                                  |
| 2007 (平成19) 年 5月26日      | スカウト運動100周年記念レセプション [東京・帝国ホテル]   |
| 2010 (平成22) 年 8月2日～3日    | 第15回日本ジャンボリー [静岡・朝霧高原] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場外御一泊</span>                                |
| 2012 (平成24) 年 5月26日      | 平成24年度全国大会 / 日本連盟創立90周年中央式典、記念レセプション<br>[東京・国立オリンピック記念青少年総合センター]   |
| 2013 (平成25) 年 8月4日       | 第16回日本ジャンボリー / 第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー<br>[山口・阿知須きらら浜]  |
| 2015 (平成27) 年 8月2日～3日    | 第23回世界スカウトジャンボリー [山口・阿知須きらら浜] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場外御一泊</span>                         |
| 2018 (平成30) 年 8月7日～8日    | 第17回日本スカウトジャンボリー [石川・珠洲] <span style="background-color: #ccccff; padding: 2px;">会場内御一泊</span>                              |



第8回日本ジャンボリー（1982） キャンプファイア



平成23年2月26日の<sup>しゅうたい</sup>梓友隊同窓会での  
皇太子徳仁親王殿下のお話

学習院関係の資料を保存している学習院史料館で「史料館講座」という一般向けの講座があり、3年ほど前に、学習院の目白キャンパスの思い出について話をすることがあります。ちょうど小学校1年生か2年生の頃に、学習院のキャンパスで、幼稚園生から大学生まで集まるお祭りのようなものがありました。その際、ボーイスカウトの綱渡りを見ることがあったなと思い出し、探していただいたのがこの写真です（モンキーブリッジの写真ファイルをご持参）。

10メートル以上あるでしょうか、ロープの上を学習院のボーイスカウトが綱渡りをし、私はそれを下から眺めました。おそらく私がボーイスカウトに接した最も早いものだったと思います。ボーイスカウトについては両親からもいろいろ話を聞いておりましたが、私としては本当に忘れられないボーイスカウトとの出会いのシーンです。

近況ですが、3年ほど前に富士山に山頂まで登ることができました。実は20年ほど前に、ボーイスカウトの「第2回シニアスカウト大会」の際、山頂を目指したのですが、その時はあいにく8合目で悪天候になってしまい登頂できませんでした。3年前はたいへんよい天気です山頂まで登ることができました。

ちなみにシニアスカウト大会で初めて富士山に登った時は、山口英一さん（現 東京連盟相談役）にご案内いただき、本当にたくさんのボーイスカウトの方々や指導者の方々と登山することができました。旧交を温めることができ、私としてもよかったと思っています。

また昨年、アフリカのガーナ、ケニアに旅行した際、ケニア・ナイロビ郊外のケニア山の近くに行きましたが、たまたま立ち寄った場所が、ベーデン-パウエル卿が晩年を過ごしたコテージでした。私もコテージを間近にして、「ここでベーデン-パウエル卿が晩年を過ごされたんだな」と非常に深い感慨に浸りました。

今後も私としても、ボーイスカウトの活動について、また思いを寄せていきたいと思ひますし、いろいろな出会いも大切にしていきたいと思ひます。

何よりもやはり、私にとって、28年前に皆様と一緒に過ごした南蔵王での体験は本当に何ものにも代えがたい貴重な財産となっております。また、これからも大切にしていきたいと思ひます。（以下略）



第2回シニアスカウト大会の富士登山。8合目小屋江戸屋にて、山口英一氏と。



第5回日本アグーナリー（1987）



第2回シニアスカウト大会（1988）



第2回シニアスカウト大会（1988）



第10回日本ジャンボリー（1990）



日本連盟創立75周年記念式典（1997）

過去における世界スカウトジャンボリーへの  
ご台臨・日本派遣団国旗拝受の記録

- 第16回 オーストラリア（カタラクトスカウトパーク）  
国旗拝受（昭和62年12月22日 東宮御所）
- 第17回 大韓民国（雪岳山国立公園）  
国旗拝受（平成3年7月28日 明治記念館）
- 第18回 オランダ（ドロンテン）  
国旗拝受（平成7年7月24日 東宮御所）
- 第19回 テリ（ピカルキン）  
国旗拝受（平成10年12月21日 東宮御所）
- 第20回 タイ（サッタヒップ）  
国旗拝受（平成14年12月25日 東宮御所）
- 第21回 イギリス（ハイランズパーク）  
国旗拝受（平成19年5月26日 帝国ホテル）
- 第22回 スウェーデン（リンカンビィ）  
国旗拝受（平成23年7月22日 東宮御所）
- 第23回 日本（山口・阿知須きらら浜）  
ご台臨（平成27年8月2日～3日 山口・阿知須きらら浜）



第16回世界スカウトジャンボリー（1987）  
国旗拝受





第12回日本ジャンボリー(1998)



### 東宮御所でのキャンプ



㊤スカウトとともに、立ちかまどを作られている様子  
㊦殿下が作られた立ちかまどをご覧になれるご一家



テントサイトへのご移動



キャンプファイアでの様子

### 皇太子殿下とのキャンプ

今から37年前の1982(昭和57)年、宮城県白石市南蔵王山麓で第8回日本ジャンボリー(8NJ)が開催され、開催期間中の8月4日から8月5日の1泊2日、私は一生の思い出となるキャンプを体験しました。各サブキャンプから選抜された、富士スカウトを中心とした13人のローバースカウトと隊長役(現 日本連盟顧問・先達 杉原正氏)と2人の副長役(うち一人が私)計3人の指導者で、浩宮殿下(新天皇陛下)に「良いキャンプ」「スカウトのキャンプ生活」をご体験いただくという杉原隊長の目標のもと、大プロジェクトを開始しました。

前々日から2日かけ、13人のローバースカウトとともに、ハイキングのプログラムを除き、ボースカウトがキャンプ生活をするうえで必要なすべての施設を作り上げ、殿下をお迎えする準備が整いました。

8月4日、緊張の中、整列をして浩宮殿下をお迎えし、その後、殿下とほぼ同年代のローバースカウトたちと炊事(夕食の準備から後片付けまで)、その後のキャンプファイアと懇談会と、楽しくてすばらしい時間はあっという間に過ぎてしまいました。翌8月5日、点検と朝礼を行い、朝食をとり、殿下は、8NJのプログラムにご参加になり、私たちはキャンプサイトの撤営をして解散しました。浩宮殿下と過ごした2日間の思い出は、今でも走馬燈のように頭を駆け巡っています。

そして、第8回日本ジャンボリーの翌年1月3日に、8NJでキャンプ生活をともにした私たちは東宮御所にお招きをいただきました。浩宮殿下の御印である「梓」の文字をいただき、この時から「梓友隊」が発隊し、ジャンボリーごと、また何かのイベントごとにREUNIONを行っています。

日本連盟コミッショナー  
梓友隊副長

福嶋 正己





第14回日本ジャンボリー (2006)



第23回世界スカウトジャンボリー (2015)



世界スカウト運動創始100周年記念レセプション (2007)



第23回世界スカウトジャンボリー (2015)



第17回日本スカウトジャンボリー (2018)

## 唯一無二の「富士スカウト章」

2018年夏、石川県珠洲市で行った第17回日本スカウトジャンボリーのジャンボリー大集会にご臨賜った皇太子殿下(新天皇陛下)の胸に、そのエンブレムは輝いていた。われわれはそれを「名誉富士スカウト章」といっている。

平成の陛下の御譲位が決まり、皇太子殿下の天皇御即位が決まったところ、日本連盟で極秘プロジェクトが動き出した。殿下に「名誉富士スカウト章」を献上できないか、というものだ。殿下には、1978年の第7回のジャンボリー以来、11回の日本ジャンボリーに毎回お出まじいただき、第8回と第9回ではスカウトたちとテント生活を送られた。第23回世界スカウトジャンボリーでも世界から集まったスカウト、指導者を激励していただいた。さらには毎年春の富士スカウト顕彰(現在は富士スカウト代表表敬)で、富士スカウトたちに参殿をお許しいただき、直接お声がけまでしていただいた。

その御恩に何とか報いる方法はないか。皇太子になられたときに、きじ章はすでに献上されている。

やはり、最もふさわしいのは名誉富士スカウト章ではないか。理事長以下、理事、コミッショナーはこぞって賛成したが、問題はどうかしてお渡しするか、果たして受け取っていただけるのかということであった。

1982年の第8回日本ジャンボリーにおいて、会場でキャンプされた

際に一緒にした<sup>しゅうたい</sup>「梓友隊」が、珠洲の会場に集まり、ごく短時間、殿下にお目にかかることになった。大集会の直前である。その時に直接お渡しする以外に方法はない。

梓友隊の隊長である杉原顧問・先達から「名誉富士スカウト章」を献上、無事受け取っていただいた。しかも、大集会でステージに上がった際にも、お胸に<sup>はいよう</sup>佩用していただいているではないか。大集会から退場される際、名誉富士スカウト章をお付けになった殿下に、奥島理事長が御即位をお祝いする「弥栄」を発声、アリーナに全参加者の弥栄がこだました。

本年3月の富士スカウト代表表敬。富士スカウトを直接励ましていただいた殿下の胸に、名誉富士スカウト章が輝いていた。ベーデン・パウエル卿を引見し、ボーイスカウト運動を事実上日本にもたらした昭和天皇以来、皇室には多大の御恩を賜ってきた。その中でも徳仁親王殿下にはどれほど感謝申し上げても足りないほど、お心を寄せいただいた。名誉富士スカウト章はまさしく唯一無二のものである。

日本連盟理事  
梓友隊上級班長

磯山 友幸



富士スカウト代表表敬 ご接見記録

日本のボーイスカウトにおける最高位の章「富士スカウト章」を受章したスカウトが東宮御所を表敬訪問し、殿下がスカウトたちをご接見される機会をいただいております（事業開始時の事業名称は「富士スカウト顕彰」）。本事業は、第1回（昭和58年）から本年に至るまで、計37回にわたり実施しましたが、殿下は、留学しておられた第2回（昭和59年）と第3回（昭和60年）を除き、毎年スカウトをご接見され、一人ひとりと直接お話しになりました。

※平成22年度（平成23年4月実施予定）は東日本大震災に鑑み、ご接見を辞退いたしました。

第1回	昭和58年4月4日（月）	第14回	平成8年3月27日（水）	第27回	平成21年4月2日（木）
第2回	昭和59年4月2日（月）	第15回	平成9年3月28日（金）	第28回	平成22年4月2日（金）
第3回	昭和60年4月2日（火）	第16回	平成10年3月24日（火）	第29回	—
第4回	昭和61年3月31日（月）	第17回	平成11年3月24日（水）	第30回	平成24年4月4日（水）
第5回	昭和62年3月31日（火）	第18回	平成12年3月31日（金）	第31回	平成25年4月4日（水）
第6回	昭和63年3月31日（木）	第19回	平成13年3月22日（木）	第32回	平成26年4月2日（水）
第7回	平成元年3月29日（水）	第20回	平成14年3月26日（火）	第33回	平成27年3月30日（月）
第8回	平成2年3月28日（水）	第21回	平成15年3月26日（水）	第34回	平成28年3月16日（水）
第9回	平成3年3月28日（水）	第22回	平成16年3月25日（木）	第35回	平成29年3月21日（火）
第10回	平成4年3月25日（水）	第23回	平成17年3月28日（月）	第36回	平成30年4月5日（木）
第11回	平成5年3月22日（木）	第24回	平成18年3月31日（金）	第37回	平成31年3月22日（金）
第12回	平成6年3月30日（水）	第25回	平成19年3月26日（月）		
第13回	平成7年3月27日（月）	第26回	平成20年3月28日（金）		



第15回日本ジャンボリー（2010）



平成24年度全国大会（2012）



第16回日本ジャンボリー（2013）



平成30年度富士スカウト代表表敬（2019） 写真提供：宮内庁

昭和天皇御製  
 ボーイスカウトの キャンプに加はりし ときの話  
 浩宮より 聞きしことあり  
 昭和五八年 那須にて





# 奉 祝 弥 栄



<p>奉祝 金光教教主 ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 <b>金 光 平 輝</b></p>	<p>謹みて天皇陛下のご即位を 心よりお慶び申し上げます ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 <b>樋 口 武 男</b></p>	<p>奉祝 ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 <b>御手洗 富士夫</b></p>
<p>謹んで御即位をお慶び申し上げます ボーイスカウト日本連盟 理事長 <b>奥 島 孝 康</b></p>	<p>御即位を心より御祝い申し上げます。 ボーイスカウト日本連盟 副理事長 <b>日 枝 久</b></p>	<p>天皇陛下ご即位おめでとうございます。 ボーイスカウト日本連盟 顧問 ボーイスカウト群馬県連盟 副連盟長 <b>新 藤 信 夫</b></p>
<p>天皇陛下御即位 弥栄 弥栄 弥栄! <b>鈴 木 國 夫</b> <small>(公財) ボーイスカウト日本連盟 顧問・先達・100周年記念史編纂委員長</small></p>	<p>奉祝 天皇陛下御即位 新しい御代をお祝いしましょう 神社本庁 総長 ボーイスカウト日本連盟 顧問 <b>田 中 恆 清</b></p>	<p>奉祝 天皇陛下御即位 天台宗宗務総長 ボーイスカウト日本連盟 顧問 <b>杜 多 道 雄</b></p>
<p>天皇陛下御即位 心よりお慶び申し上げます。 世界救世教 管長 ボーイスカウト日本連盟 顧問 <b>長 澤 好 之</b></p>	<p>御即位 おめでとうございます。 ボーイスカウト日本連盟 相談役 世界スカウト財団 理事 <b>荒 尾 雅 也</b></p>	<p>御即位おめでとうございます 第11回日本ジャンボリー 大会長 ボーイスカウト日本連盟 参与 <b>宇 野 真 之</b></p>
<p>天皇陛下御即位 心からお祝い申し上げます。 ボーイスカウト日本連盟 評議員長 <b>谷 口 修</b></p>	<p>おめでとうございます! ボーイスカウト日本連盟 評議員 <b>河 内 正 美</b></p>	<p>祝 御即位 ボーイスカウト日本連盟 評議員 ボーイスカウト沖縄県連盟 理事長 <b>宮 里 博 史</b></p>
<p>奉 祝 天皇陛下御即位 ボーイスカウト日本連盟 評議員・ 100周年都道府県連盟財政拡充事業小委員会副委員長 千葉県連盟 名誉会議議長、市川・浦安地区 協議会長 <b>森 屋 啓</b></p>	<p>御即位おめでとうございます <b>小 町 國 市</b> <small>ボーイスカウト東京連盟 副連盟長 ボーイスカウト日本連盟 理事・名誉会議議長</small></p>	<p>奉祝 弥栄 ボーイスカウト日本連盟 理事・財務委員長 <b>戸 高 有 基</b></p>
<p>御即位おめでとうございます ボーイスカウト日本連盟 理事 <b>磯 山 友 幸</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>弥 栄</b></p> <p>謹みて ご即位を お慶び申し上げます ボーイスカウト日本連盟 顧問・先達 日本ジャンボリー スカウトキャンプ梓友隊長 <b>杉 原 正</b></p>	<p>御即位 おめでとうございます ボーイスカウト日本連盟 専務理事 <b>佐 野 友 保</b> 常務理事 <b>膳 師 功</b> <b>山 内 直 元</b></p>
<p>奉祝 弥栄 ボーイスカウト日本連盟 コミッショナー 福嶋正己 副コミッショナー 鈴木令子 副コミッショナー 氏家邦政 副コミッショナー 山崎伊佐緒</p>		
<p>おめでとうございます!! 弥栄 弥栄 弥栄 ボーイスカウト日本連盟 相談役 <b>井 上 保</b></p>	<p>三 指 奉 祝 徳仁天皇陛下即位 ボーイスカウト日本連盟 評議員 ボーイスカウト広島県連盟 理事長 ボーイスカウト広島第30団 団委員長 <b>橋 本 貢</b> 弥 栄</p>	<p>おめでとうございます!! ボーイスカウト松本第4団 育成会長 ボーイスカウト長野県連盟 先達 ボーイスカウト日本連盟 参与 <b>犬 飼 康 元</b></p>









# 奉 祝 弥 栄



## 奉 祝 天 皇 陛 下 御 即 位

ボーイスカウト和歌山連盟

連盟長 山本一郎  
 理事長 仙石谷田  
 県連盟  
 コミッショナー 中奥  
 事務局長 奥田新雅

ボーイスカウト日本連盟

顧問・先達  
 山本一郎

天皇陛下御即位おめでとうございます。天皇皇后両陛下と皇室の弥栄をお祈り申し上げます。

### 日本ボーイスカウト兵庫連盟

監事	理事	常務理事	理事長	(財)兵庫県ボーイスカウト振興会	連盟長	副連盟長	理事長	副理事長	県連盟 コミッショナー	理事	副理事長	県連盟 コミッショナー	事務局長																																			
南波芳樹	高橋正幸	稲本佳嗣	堤脇龍正	西脇龍亮	川勝賢一	山田田良輝	中山明一	鈴木佳一	南平武生	高田真志	青木教至	笠原章雄	牛飼満和	岸上敏之	小林義一	片山紀彦	讚岐等	谷垣憲郎	黒田茂	野上一恵	中村正寿	藤田智之	理事	副理事長	県連盟 コミッショナー	事務局長																						
樹	幸	嗣	正	亮	賢	輝	一	一	生	志	奈	茂	雄	介	裕	浩	典	朗	也	信	英	和彦	清水秀彦	小林恭子	梅田華奈	池田純雄	大庫俊介	山口貴裕	中島靖浩	原田知典	藤尾盛朗	富永和也	池田好信	桑英人	植田和彦	清水秀彦	小林恭子	梅田華奈	池田純雄	大庫俊介	山口貴裕	中島靖浩	原田知典	藤尾盛朗	富永和也	池田好信	桑英人	植田和彦



ご即位 おめでとうございます

ボーイスカウト埼玉県連盟

連盟長 上田清司  
 副連盟長 清水勇  
 理事長 鈴木木政佳  
 県連盟  
 コミッショナー 斎藤政之

ボーイスカウト埼玉県育成会

会長 相川宗一  
 常任顧問 川本武彦  
 会長代行 井原上孝  
 二望

## 弥 栄

天皇陛下御即位を  
 心よりお喜び申し上げます

日本ボーイスカウト石川県連盟

おめでとうございます!

(一社)日本ボーイスカウト愛知連盟

連盟長 岡谷篤一  
 理事長 永井淳  
 県連盟  
 コミッショナー 長谷川榮一

## 祝! 御即位

日本ボーイスカウト長野県連盟

連盟長 阿部守一  
 理事長 出田行徳  
 副理事長 福澤勝  
 県連盟  
 コミッショナー 小岩井由道  
 県連盟  
 デレクター 藤川育恒  
 事務局長 矢口恒善

## 祝 御即位



大阪連盟結成70周年  
 振興協会設立50周年

日本ボーイスカウト大阪連盟

連盟長 大坪文雄

## 奉 祝

日本ボーイスカウト神奈川連盟

連盟長 黒岩祐治  
 副連盟長 佐野友保  
 理事長 藤本欣司  
 副理事長 濱田雅弘  
 県連盟  
 コミッショナー 柳下明子  
 事務局長 鈴木清大 水木裕一 津省

御即位おめでとうございます

日本ボーイスカウト奈良県連盟

連盟長 綿谷正之  
 副連盟長 辻村泰範 中西達  
 理事長 吉田甚造  
 副理事長 諸熊建次 村田禎章  
 県連盟  
 コミッショナー 佐藤之雄  
 事務局長 松本安嘉

一般財団法人

大阪ボーイスカウト振興協会

会長 江崎勝久

大阪スカウトクラブ

会 員 一 同



<p>おめでとうございます！</p> <p>日本ボーイスカウト群馬県連盟</p>	<p>天皇陛下御即位 おめでとうございます。</p> <p>富山県連盟</p> 	<p>おめでとうございます</p> <p>日本ボーイスカウト滋賀連盟</p>
<p>おめでとうございます！</p> <p>日本ボーイスカウト京都連盟</p>	<p>天皇陛下御即位おめでとうございます</p> <p>日本ボーイスカウト香川連盟</p> <p>連盟長 松平 頼武          理事長 天雲 俊夫          県連盟ゴミッシュョナー 岡真一          事務局長 岡内 清弘</p>	<p>御即位 おめでとうございます</p> <p>日本ボーイスカウト愛媛県連盟</p> <p>連盟長 宮内 正民          理事長 龍田 純孝          県連盟ゴミッシュョナー 宮崎 雅延          事務局長 橋本 祐志</p> <p>公益財団法人愛媛県スカウト運動維持財団</p> <p>代表理事 関 宏 成          業務執行理事 大久保 秀司</p>
<p>御即位おめでとうございます</p> <p>日本ボーイスカウト長崎県連盟</p> <p>連盟長 中村法道 理事長 前田良治          県連盟ゴミッシュョナー 堀本 進</p>	<p>御即位 おめでとうございます。</p> <p>一般社団法人          日本ボーイスカウト熊本県連盟</p>	<p>天皇陛下の御即位を          心よりお慶び申し上げます</p> <p>ボーイスカウト日本連盟          社会連携・広報委員会</p> <p>委員長 磯山 友幸 (理事)          副委員長 鈴木 俊明 (埼玉)          〃 松平 頼昌 (東京)          委員 青木 秀樹 (長野)          〃 安部 秀 (神奈川)          〃 井上 義雄 (京都)          〃 川瀬 政美 (大阪)          〃 久保田 太郎 (大阪)          〃 清水 健 (学識経験)          〃 高橋 叔之 (学識経験)          〃 只野 太一 (東京)          〃 土田 純平 (山形)          〃 山本 慎太郎 (東京)</p>
<p>奉祝 弥栄</p> <p>日本ボーイスカウト大分県連盟</p> <p>連盟長 広瀬勝貞 理事長 戸高有基          県連盟役員・指導者・スカウト一同</p>	<p>弥栄</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 名誉会議</p> <p>議長 小町 國市 (理事)          議員 濱田 雅弘 (関東)          〃 中島 佳一 (近畿)          〃 内田 日出男 (九州・沖縄)          〃 西山 繁夫 (学識経験)          〃 安田 勝 (学識経験)</p> <p>議員 本多 勉 (北海道・東北)          〃 前川 俊弘 (中部)          〃 廣田 裕 (中国・四国)          〃 入江 生夫 (学識経験)          〃 宮本 智喜 (学識経験)          〃 鈴木 令子 (副ゴミッシュョナー)</p>	<p>天皇陛下の御即位を          心よりお慶び申し上げます</p> <p>ボーイスカウト日本連盟          社会連携・広報委員会</p> <p>委員長 磯山 友幸 (理事)          副委員長 鈴木 俊明 (埼玉)          〃 松平 頼昌 (東京)          委員 青木 秀樹 (長野)          〃 安部 秀 (神奈川)          〃 井上 義雄 (京都)          〃 川瀬 政美 (大阪)          〃 久保田 太郎 (大阪)          〃 清水 健 (学識経験)          〃 高橋 叔之 (学識経験)          〃 只野 太一 (東京)          〃 土田 純平 (山形)          〃 山本 慎太郎 (東京)</p>
<p>御即位おめでとうございます！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟          団支援・組織拡充委員会</p> <p>委員長 村田 禎章 (理事)          副委員長 木村 寿宏 (神奈川)          〃 澤 朋宏 (愛知)          委員 川村 悦子 (静岡)          〃 白川 雅之 (東京)          〃 高見 和宏 (福井)          〃 藤川 晴代 (兵庫)</p>	<p>おめでとうございます！ 弥栄</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 国際委員会</p> <p>委員長 嶋田 寛 (理事)          副委員長 近藤 明彦 (神奈川)          〃 森永 信一路 (福岡)          委員 笹野 真子 (千葉)          〃 黒岩 かさね (東京)          〃 中村 耕治 (愛知)          〃 花岡 浩司 (長野)          〃 富田 光一 (大阪)          〃 大石 千秋 (兵庫)</p>	<p>奉祝 弥栄</p> <p>日本オールドスカウトクラブ</p> <p>名誉会員 三石 昌智 子圓 (唐招提寺 第八十七世前長老)          〃 島田 智 至          相談役 村山 山平 頼和重 至武夫利満一俊三博直二          相談員 村山 山平 頼和重 至武夫利満一俊三博直二          会長 松大 武加 望河 木鴨 志 昭          副会長 大武 加望 河木 鴨志 昭          世話人 大武 加望 河木 鴨志 昭</p>
<p>奉祝 弥栄</p> <p>日本スカウトライオンズ</p> <p>会長 菅原 雅雄 (東京 堀留 LC)          副会長 菅原 雅保 (国分 華入 LC)          〃 鬼塚 俊保 (東京 ビース LC)</p> <p>名誉会員 逢沢 一郎 (岡山 もたらう LC)          参与会員 寺越 慎一 (広島 平和 LC)          〃 岡村 聖爾 (下関 北 LC)          〃 宮下 秀昭 (元日本連盟)          代表理事 津守 勝男 (東京 大森 LC)          理事 川田 基弘 (岐阜 早南 LC)          〃 福田 雅之 (大阪 難波 LC)          〃 藤中 義久 (宇治 部 LC)          〃 田尻 紀夫 (東京 白門 LC)          〃 千 利昭 (秋田 山王 LC)</p> <p>幹事長 大石 和夫 (東京 青山山 LC)          筆頭幹事 稲垣 秀明 (東京 御茶の水 LC)          副幹事長 中山 道則 (東京 明田イン LC)          〃 村山 正 (東京 銀座 LC)          〃 衣笠 博介 (東京 校門 LC)          〃 五十野 和男 (東京 吉山 LC)          〃 田雅 俊徳 (東京 新都心 LC)          監事 松尾 和英 (東京 五反田 LC)          〃 黒田 幹雄 (東京 虎の門 LC)</p>	<p>奉祝 弥栄</p> <p>日本スカウトロータリアン</p> <p>会長 松平 頼武 (東京 北 RC)          副会長 犬飼 康元 (松本 RC)          〃 佐野 友保 (秦野 中 RC)          〃 水野 正人 (東京 RC)          理事 鈴木 秀男 (東京 八王子北 RC)          〃 太田 幹浩 (西尾 一色 RC)          〃 山田 明良 (西宮 夙川 RC)          〃 高見 篤志郎 (大阪 天王寺 RC)          〃 村上 智真 (柳井 RC)          〃 戸高 有基 (津久見 RC)          監事 増田 嘉一郎 (横浜 旭 RC)</p>	<p>奉祝 弥栄</p> <p>日本オールドスカウトクラブ</p> <p>名誉会員 三石 昌智 子圓 (唐招提寺 第八十七世前長老)          〃 島田 智 至          相談役 村山 山平 頼和重 至武夫利満一俊三博直二          相談員 村山 山平 頼和重 至武夫利満一俊三博直二          会長 松大 武加 望河 木鴨 志 昭          副会長 大武 加望 河木 鴨志 昭          世話人 大武 加望 河木 鴨志 昭</p>
<p>奉祝 御即位</p> <p>令和の御代の弥栄を祝して</p>	<p>梓友隊</p> <p>since 1982</p>	<p>奉祝 弥栄</p> <p>ボーイスカウト日本連盟事務局一同</p>





そなえよつねに  
ボーイスカウト

# 2019年度 事業計画

日本連盟創立100周年まであと3年となる今年度は、5つの重点施策のほか、第24回世界スカウトジャンボリーへの派遣、新たな地で開催する富士特別野営、RCJフォーラムや各種派遣などの事業を実施します。今年度も継続して「活動的で自立したスカウト」の育成に取り組んでいきましょう。

## 2019年度事業計画について

これまでの数年間は、2022年の日本連盟創立100周年までに日本のスカウト運動を活性化させ、「ベターワールド」の実現に向けて「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目標に、さまざまな施策に取り組んできました。

この目標達成まで残すところ3年となり、2016年度に策定した「100周年を目指した長中期計画」が折り返しの年を迎え、これまでに達成した課題と今後の課題を明確にして、さらに前進させていきます。また、広報戦略、加盟員拡大と中途退団抑止の取り組み、財政ビジョン等の施策の成果を検証し、相乗効果を高めるような取り組みを進めます。

今年度は加盟登録料の改定により、皆さんに負担増を求めることになりましたが、日本連盟では、昨年度から最優先で取り組んでいる「財政再建および組織改革に関する基本方針」に沿って、安定した組織でスカウト運動の価値を高めることができるよう徹底した改革を進めています。

加盟員の皆さんには、これらの取り組みを十分にご理解いただき、今後のスカウト運動の再興に向けて、全員が一体となって取り組んでいただきたいと思います。

7月にはアメリカ合衆国で第24回世界スカウトジャンボリーが開催されます。日本連盟からは、第23回世界スカウトジャンボリー（2015年）日本開催の経験を踏まえた派遣事業として、1,200人を超すスカウトと指導者を派遣します。また、日本国内では、8月に富士特別野営2019を那須野営場から高萩スカウトフィールドまでの移動野営を含むプログラムで実施しますが、これは、日本連盟野営場を使った新たなプログラムの展開となります。

これらの諸施策を進めるため、さらなるご理解とご協力をお願いいたします。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

理事長

奥島孝康





## ▶ 事業スローガン

# 「活動的で自立した スカウトを育てよう!!」

～日本連盟創立100周年を目指して～



2019年度も、日本連盟創立100周年を目指した長中期計画で策定した「活動的で自立したスカウトを育てよう!!」をスローガンに、活動に取り組みます。

重点施策は、これまでに達成した課題を明確にし、相乗効果を生み出すために加えた財政再建および組織改革に関する基本方針、広報戦略、加盟員拡大、中途退団抑止、財政ビジョンの今後の課題を整理することとします。また、100周年記念事業の策定と準備を具体的に進めていきます。

このほか、本年4月から加盟登録料を改定しましたが、団

への支援として「2019年度スカウト初年度登録促進キャンペーン」を展開しています。

重点事業としては、第24回世界スカウトジャンボリー派遣、富士特別野営2019を実施するとともに、創立100周年を目指したさまざまな準備を進めます。

そして、日本のスカウト活動の活性化と加盟員拡大を最大の課題として、前述の重点施策と重点事業を展開し、これらを通じて、2019年度は特に次の成果を目標とします。



## 2019年度 成果目標

### 安定した組織によるスカウト運動の価値を高める。

#### 1. 新規加盟スカウトの増加促進

- 1 スカウト初年度登録促進キャンペーンによる新規加盟スカウトの前年度比10%の増加を目指す

#### 2. 中途退団抑止対策

- 1 登録審査にかかる全団実態調査を行い、必要な支援に着手する
- 2 全国各地で中途退団抑止セミナーを開催し、退団の抑止を進展させる

#### 3. 担い手を育成するための基礎づくり

- 1 RS活動の充実と大学RS隊発隊を促進する
- 2 全国ローバースカウト会議(RCJ)への支援を拡大する
- 3 保護者の協力を促進する





## ▶ 重点施策と重点事業

### ✓ 重点施策

#### 1. 財政再建および組織改革に関する基本方針

2017年度全国大会における奥島理事長の「非常事態宣言」を受け、スカウト運動の再興に全力を尽くすため、経営状況の透明化や組織の効率化を進めます。そのため、今後の財政再建や経営体制のあり方について、引き続き、次の7つの「基本方針」に取り組みます。

- (1) 登録料の改定によって財政を立て直し、スカウト運動の質を向上させる
- (2) 事業や業務の全面的な見直しを行い、予算の効率化を実現する
- (3) 収入の柱のひとつであるエンタープライズの経営を刷新し、安定的に収入を確保する
- (4) 保有金融資産の活用や企業寄付の獲得など新たな収入の道を確保する
- (5) 高萩スカウトフィールドの活用方法を具体的に示す
- (6) 理事会の執行体制の明確化など組織体制の見直しを行う
- (7) 日本連盟の経営情報の透明化を進め、関係者の声を聞く

#### 2. 日本連盟創立100周年を目指した長中期計画の行動計画への取り組み

2022年に迎える日本連盟創立100周年までに達成する長中期計画の取り組みについては、4年目を迎えます。

- (1) コミッショナーの充実
- (2) 質の高い活動のための方策（セーフ・フロム・ハーム）
- (3) 指導者養成
- (4) 地域コミュニティーづくり
- (5) プログラムの見直し
- (6) 登録制度の見直し
- (7) スカウティングにおける成人の役割
- (8) 情報伝達手段の刷新
- (9) 組織体制の検討
- (10) 国家資格認定制度へのチャレンジ
- (11) 公益事業の取り組み
- (12) 野外活動施設の確保

#### 3. 加盟員拡大・組織拡充・中途退団抑止に向けた取り組み

加盟員拡大と組織拡充に取り組み、スカウト活動を活性化するために、日本連盟のみならず、県連盟、地区、団との連携に

より、次の4項目を重点的に取り組みます。

- ・ 加盟員獲得に向けた広報戦略の展開、スカウト活動のユニークさをアピール
- ・ 団診断による団への支援と新団設立への取り組み
- ・ 2019年度スカウト初年度登録促進キャンペーンの実施
- ・ 中途退団抑止のための支援

#### 4. 安定した運営

公益財団法人として安定した運営を進めるために、次の4項目を推進します。

- ・ 企業、他団体、行政との連携促進
- ・ 維持会員増強
- ・ 財政ビジョンの取り組み
- ・ 世界や地域との連携

#### 5. 100周年記念事業の策定

日本連盟創立100周年まで3年となる今年度は、記念事業のさまざまな計画の検討を進めます。

- ・ 記念事業の策定と準備
- ・ 第18回日本スカウトジャンボリー（2022年）の準備

### ✓ 重点事業

#### 1. 第24回世界スカウトジャンボリー派遣

7月22日（月）から8月2日（金）までアメリカ合衆



国ウエストバージニア州サミットベクテルで開催される第24回世界スカウトジャンボリーに、1,200人を超える日本派遣団を編成して派遣します。派遣期間は、参

加隊が7月21日（日）から8月5日（月）までの16日間、国際サービスチーム員は7月19日（金）から8月6日（火）までの19日間を予定しています。

#### 2. 富士特別野営2019

8月10日（土）から16日（金）までの7日間、那須野



#### 3. 各種行事の開催

5月に鹿児島で全国大会、10月にRCJフォーラム、2020年1月に日韓スカウト交歓計画等の行事を開催します。

※誌面の都合により、タイトルだけの掲載や一部を要約しています。詳細は日本連盟ホームページよりご確認ください。



# ニッポン全国 元気団 紹介

## 奈良県連盟 奈良第18団

日本のほぼ中央部、紀伊半島の中心に位置し、古墳や遺跡、数多くの神社仏閣で有名な奈良県。県庁所在地である奈良市内に、県最多のスカウト数を誇る奈良第18団がある。



## 人のつながり。大好きな場所で笑顔あふれる活動を。

### 人が人を呼ぶ スカウト100人超え

1974(昭和49)年12月、ボーイ隊とローパー隊総勢30人弱で始まった奈良第18団。休団することになった奈良第10団のローパー隊が継続を望み、当時の副団委員長が所有する約6,000㎡に及び山を開拓して、奈良第18団として活動を始めた。

それから2年後にはシニア隊(現ベンチャー隊)とカブ隊が発足し、1989(平成元)年にはビーバー隊も発隊した。現在では近鉄線学園前駅半径約20kmの市内はもちろん、近隣地域からもスカウトが集まり、ここ数年スカウト数が100人を超えている県屈指の団。

この数年、スカウト数100人超を維持しているのは、保護者の口コミだけでなく、指導者やスカウト自身が活動の楽しさを周囲に話し、活動に興味をもって参加してもらった結果だ。団関係者が「活動が楽しい」と当たり前に見えることこそ、ボーイスカウトを知ってもらい、よく理解してもらう最大の要因だという。



### 自慢の活動場所

奈良第18団には「本部」と呼び親しむ活動場所がある。発団時に開拓した場所が使えなくなった1987(昭和62)年、幸運にも、当時の育成会監事に持ち山の一部(約1,000坪)を提供していただき、そこを開墾して新たな活動場所にできた。最寄り駅から徒歩10分以内の住宅地の中にある緑豊かな森。

自然豊かな活動場所は、各隊が一斉に活動

できる広さだけでなく、先輩たちの手で、より魅力あふれる場に。団をあげて建てたログハウスやバンブーハウス、テントサイトのほか、ピザ窯や石焼き芋窯までそろい、資材等の収納倉庫が3棟もある、とっておきの場所だ。

### 楽しみな週末を

活動は各隊とも基本的に月4回。月に2回とする団が多いなか、ほぼ毎週、活動している。月に2回だと休んだら次の集会まで1か月空いてしまうため、スカウトのモチベーションが下がってしまうかもしれない。そうならないよう、活動の機会を増やすことで多くの体験をさせ、スカウトのやる気や楽しさを増やす。また、毎週の活動により、「週末はボーイスカウト」という意識が根付き、出席率も良いという。

活動内容は基本に忠実、地道な内容が多い。派手な活動でなくとも、自然豊かな本部では、楽しい活動がたくさんできるのだ。

ビーバー隊とカブ隊は、自然の中で心ゆくまで遊び、笑顔が絶えない活動を。そしてボーイ隊以上は特に他隊の指導者との連携を強化しており、スカウト一人ひとりの個性を重視し、それぞれのスカウトへの支援方針を指導者みんなで考えて活動にあたる。「所属隊以外の指導者でも、目をかけてくれている」という意識がスカウトにも保護者にも伝わり、それが上進はもちろん、日ごろの活動への信頼にも繋がっているのだろう。

### ボーイスカウトの存在感

隊活動のほか、本部では、年に数回、家族や地域の人を巻き込んで行うイベントがある。団の「バザー」は、近隣住民にも広く声をかけ、OBの保護者も積極的に支援してくれるそうだ。

また、保育園などの近隣団体にも本部やピザ作りのプログラムなどを提供し、野外で遊ぶ楽しさを知ってもらう。「たとえそれがスカウト増員に直結しなくても、ボーイスカウトや奈良第18団の活動を知ってもらおう、子ども

たちに楽しんでもらおう」という指導者たちの想いは地域住民にも伝わっていることだろう。おかげで、地域からはボーイスカウトという存在の認知と理解が得られ、地元あやめ池神社の秋祭りでは、5基あるうちの3基の神輿を任されている。



### 自分の想いを形にできる人たち

団の自慢は環境と人に恵まれていること。活動場所に恵まれているだけでなく、なによりも、夢や構想と一緒に実現しようと思える仲間がいて、実際に実行できるのが特徴だ。団の仲間が年代を問わず楽しめるよう、ものごとを常に柔軟にとらえ、それでいて覚悟をもって挑戦できる人たちが集まっており、「なんでもできる」という自信がある。

団委員会も育成会も、自信と覚悟をもった姿勢で活動や運営に臨み、スカウトたちの将来を見据え、それぞれの役割を果たす。「夢や構想は必ず形にする」という強い意思をもつ人たちが集まる奈良第18団は、これから先も、新たな夢や構想を実現させ、発展していくことだろう。



お話を伺った皆さん。自慢のスカウトハウスで和やかにお話いただきました。

## カブスカウト対象

数量限定

# “新チャレンジ章”



昨年の春に登場した、企業とのコラボレーションによる新チャレンジ章。今春は5種類のバッジを展開しており、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊の活動で細目に挑戦し、それぞれの分野を学びます。取得したバッジは制服やタスキに着用できます。

このバッジは、各分野で活躍する企業とのタイアップによるものなので、来年も同じバッジに挑戦できるとは限りません。申し込みは隊ごとですので、この機会を逃さず、ぜひ活動に取り入れてください。



＼昨年好評につき今年も！／

### フィールドマスター

マルチツールのプロフェッショナルであるビクトリノックス社とともに、突然の災害や事故にも負けずに野外でたくましく活動してほしいとの思いからこのバッジを作りました。

手先を使うナイフなどの道具の正しい使い方を学び、ケガの手当てや自分だけのハシ作り、火起こしや野外料理に取り組みます。野外で積極的に活動できる、フィールドマスターに挑戦しましょう。



＼昨年好評につき今年も！／

### セーフティエキスパート

セーフティファースト(安全第一)を最も大切にしているリオティント社とともに、子どもたち自身の安全意識の向上を目指してこのバッジを作りました。

活動中や移動中、さらには家の中での安全について考えるために、いろいろな危険が隠れた日常シーンのイラストをもとに、日ごろから安全を意識することができる、セーフティエキスパートに挑戦しましょう。



＼昨年好評につき今年も！／

### フォレストガーディアン

世界で最も厳しい森林認証を運営するFSC®とともに、FSCマークの製品を選ぶだけで森を守ることにつながることを子どもたちに知ってほしいという思いからこのバッジを作りました。

FSCマークの意味を学び、身の回りにある木製品や紙製品がどのように作られているかを意識して製品を選ぶことができるように、フォレストガーディアンに挑戦しましょう。



＼新しく仲間入り！／

### ピカッと探検家

暮らしに欠かすことのできないさまざまなエネルギーを家庭や店舗に届けているミツウロコヴェッセル社とともに、発電の仕組みや自然エネルギーについて学ぶためにこのバッジを作りました。

電気を使えるようになるまでの道のりを表現したスゴロクを使って、発電の仕組みや電柱、電線、変電所について調べて、毎日使用する電気の大切さについて考えることができる、ピカッと探検家に挑戦しましょう。



＼新しく仲間入り！／

### おなかエキスパート

「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人の健康で楽しい生活づくりに貢献します」という企業理念を掲げるヤクルト本社とともに、子どもたち自身の健康意識の向上を目指してこのバッジを作りました。

毎日のうんちの状態を調べて、食べ物の栄養素を吸収する腸の大切さ、腸における乳酸菌の働きを学び、腸の調子を整えるための生活習慣を身につけることができる、おなかエキスパートに挑戦しましょう。

日本連盟のホームページからお申し込みください。

<https://www.scout.or.jp/member/>



- ※ お申し込み状況によっては、すでに受け付けを終了している場合があります。バッジごとに異なりますので、ホームページでご確認ください。
- ※ 年度内での取り組みと報告をお願いいたします。

新チャレンジ章にすでに取り組んでいただいた皆さま、活動を展開するなかで、おすすめの内容があればぜひ実施報告の際に詳細をお教えください。まだ新しい取り組みですので、今後の開発の参考にさせていただきます。

また、新チャレンジ章はスカウトが新たな分野に興味をもつための、ひとつのきっかけです。この取り組みを活動に上手に組み込んでいただき、引き続き、既存のチャレンジ章などにも関心が向くよう、スカウトをご指導ください。



## 第13回日本アグーナリー

特別な配慮が必要なスカウトや国内外のスカウト、指導者が集まり、キャンプ生活を通じて「共生社会」の実現を目指す国際障がいスカウトキャンプ大会「日本アグーナリー」。来年の夏、山と湖と森の豊かな自然に囲まれた福島・国立磐梯青少年交流の家で、「第13回日本アグーナリー」を開催します。



### 大会ロゴデザイン入選作品決定!

本誌2019年1月号やホームページ等で公募した第13回日本アグーナリーの大会ロゴデザインについて、実行委員会での審査の結果、全50作品の中から次の作品が入選・佳作となりました。多くの方々にご応募いただきありがとうございました。

#### 入選/天野 穂積 (一般・グラフィックデザイナー)

男の子と女の子が手をひろげる仕草をモチーフとし、テーマである「We Can! ふかめよう友情! ひろげよう絆!」を表現しました。また男の子と女の子がかかげる山は磐梯山、湖は猪苗代湖等をイメージし、開催地の特徴を強調してみました。

※ 入選作品については、一部修正のうえ、大会ロゴデザインとして、大会参加章(ワッペン)や大会記念品等に使用します(佳作についても記念品等に使用することがあります)。

※ 制作者の了承を得てスカウト章等の追加をしています。今後一部修正の可能性あります。



#### 佳作

中嶋 広志  
(岐阜・可児第1団  
団委員)



#### 佳作

木村 夏歩  
(一般・大学生)

### 最新情報

#### 現地説明会の開催

来夏の大会開催に向け、今夏、参加希望者(団)への説明会を現地で開催します。会場施設の視察と生活やプログラム等計画の説明、障がい児スカウティングに関する情報交換や第13回日本アグーナリーの取り組みについての意見交換を予定しています。

【日時】8月11日(日・祝)14:00~12日(月)11:00解散【1泊2日】【会場】福島・国立磐梯青少年交流の家 ※公共交通機関をご利用の方は、13:30猪苗代駅集合。施設のマイクロバス等で送迎を予定しています。【参加対象】第13回日本アグーナリー参加希望の団または隊の指導者【参加費】3,000円(食費を含む1泊2日宿泊費、資料代、情報交換会費含む)※往復の旅費は参加者の自己負担 詳細は今後、日本連盟ホームページにてご案内する予定です。

## 第37回(平成30年度)富士スカウト代表表敬

平成30年度の富士スカウト代表表敬を、下記の日程でそれぞれ実施しました。代表スカウトは訪問前日に集合し、準備集会を経て表敬訪問に臨みました。

### ■ 東宮御所

3月22日(金)、27県連盟より47人の富士スカウトが東宮御所を表敬訪問し、皇太子殿下がスカウトたちをご接見されました。東宮御所内では、皇太子殿下がスカウト一人ひとりと

お話しになられ、代表スカウトがお礼と決意の言葉を述べました。また、皇太子殿下より「おことば」をいただき、スカウトから弥栄をお贈りしました。

【日時】3月22日(金)11:00~11:50 【場所】東宮御所 【参加者】代表スカウト27県連盟47人 ボーイスカウト振興国会議員連盟より:逢沢 一郎 会長、中曽根 弘文 副会長、塩谷 立 副会長・事務総長、井上 義久 副会長、笠 浩史 理事・事務局長、山本 ともひろ 理事・事務局次長 ボーイスカウト日本連盟より:水野副理事長、佐野専務理事、福嶋日本連盟コミッショナー、榎原プログラム委員長、他

### ■ 首相官邸・文部科学省

3月27日(水)、20県連盟より47人の富士スカウトが首相官邸と文部科学省を表敬訪問し、安倍内閣総理大臣(代理:西村内閣官房副長官)と柴山文部科学大臣から激励のお言葉を

いただきました。また、富士スカウトの先輩である山本衆議院議員からもスカウトにメッセージをいただきました。

【日時】3月27日(水)12:35~12:50(文部科学省)、18:20~18:35(首相官邸) 【場所】首相官邸、文部科学省 【参加者】代表スカウト20県連盟47人 ボーイスカウト振興国会議員連盟より:(文部科学省参加)山本 ともひろ 理事・事務局次長 (首相官邸参加)逢沢 一郎 会長、中曽根 弘文 副会長、塩谷 立 副会長・事務総長、井上 義久 副会長、笠 浩史 理事・事務局長、山本 ともひろ 理事・事務局次長 ボーイスカウト日本連盟より:山内常務理事、福嶋日本連盟コミッショナー、榎原プログラム委員長、他



写真提供:宮内庁





少年の部【応募総数 200 点】



第46回

全国ボーイスカウト写真コンテ

入賞作品  
発表!



📷：撮影者作品コメント 評：審査委員長のコメント

※応募者の所属隊等は応募時のものです。



『笑顔で伝わる共同募金、ありがとう!』

上田 ひより 兵庫・姫路第6団 ボーイスカウト

📷 カブスカウトが共同募金活動している様子を撮影しました。

評 募金活動をしているカブスカウトたちと、返礼を受けている一般の募金者の表情がなんとも嬉しそうなのが写されていて、募金活動が成功している光景が1枚の画面に集約されているところに、この写真の良さがあります。画面いっぱいに人物が配置されているのも素敵です。

Canon



少年の部  
PowerShot  
SX430 IS



青年・成人の部  
EOS Kiss M  
EF-M15-45 IS  
STM レンズキット

今年の写真コンテストは、昨年に引き続きキヤノン株式会社にご提供いただきました。「少年の部」「青年・成人の部」それぞれの最優秀者にお送りいたします。ぜひ、今後の活動の中でもカメラに親しみ、魅力あふれる瞬間を写真に収めていきましょう。



『初めて使うナイフに、真剣な顔』

小畑 美咲 兵庫・姫路第6団 ボーイスカウト



📷 カブのキャンプで、ナイフの使い方の指導をしている風景です。刃物を使うカブスカウトと見ているスカウトの真剣な顔を撮影しました。

評 カブスカウトがナイフを初めて使う真剣な表情が写こまれており、それを見る仲間も真剣そのものの顔をしているのが素敵です。カメラのアングルを下から狙っているので、より真剣な表情を写しとることができます。



『まだ、積めるよ!』

平山 くるみ

兵庫・姫路第6団 ボーイスカウト



📷 空き缶を積み上げるゲームに挑戦するカブスカウトの様子を応援しながら撮影しました。

評 缶の積み上げゲームをするカブスカウトたちの、いかに高く、倒さないで積みかという真剣な表情が素敵です。これでもいいのですが、カメラの位置をもう少し低く設定し、下から見上げるように撮ると、躍動感が画面に表れます。試してみてください。



『未来のスカウト』

入選 佐野 涼我  
山梨・都留第1団  
カブスカウト



『友情パワーでケーキ作り!』

入選 渡部 元気  
東京・あきる野第1団  
カブスカウト



『食べちゃだめー!』

入選 大石 亜胡  
静岡・浜松第1団  
カブスカウト



『低いカーブミラー』

入選 浦野 由衣  
愛知・東海第4団  
カブスカウト



『森で遊ぶビーバーたち』

入選 釜坂 月菜  
兵庫・姫路第6団  
ボーイスカウト



『目指セプロカメラマン』

入選 松島 琉歩  
岡山・岡山第17団  
カブスカウト



『国旗よ揚げ!』

入選 田原 湘矢  
福岡・北九州第55団  
カブスカウト



審査委員長  
田沼 武能氏

たぬまたけよし/東京写真工専卒業後、木村伊兵衛氏のもとで修行、その後フリーに。高度成長期以前の東京下町の暮らしなどを撮影する。その後活躍の舞台を世界にひろげ、各国の子どもたちの写真を撮り続けている。1995年より2015年まで日本写真家協会会長。紫綬褒章など受賞多数。少年時代、現在の台東第1団(東京第2隊)の前身大谷健児団でボーイスカウト活動に参加。



青年・成人の部 【応募総数 201 点】



『プライスレス』

仲野 佐織

大阪・大阪第71団ビーバー隊 補助者

☑ 秋晴れの街歩き探検後、隊長が「鼻だして!」と木の葉章をつけ始めました。いつもは手の甲にもらう子どもたちは大ウケ! さわやかな空気、隊長の想い、はじける子どもたちの笑顔。心温まるひと時でした。

🗨 隊長が趣向を変えて木の葉章を鼻の頭につけ、皆を笑わせて楽しく活動している姿が、少年から感じられます。楽しい活動にふさわしい表情をしていると思います。ひとりだけではなく、周りにたくさん参加している全体の中で、このスカウトを中心に写しこんでいるのもなかなかうまいです。



『ビーバーの100周年』

片寄 颯人 千葉・八千代第2団 ローバースカウト

☑ 100周年記念バッジを隊長からもらって、自分たちの100周年を考えました。その時の笑顔です。

🗨 スカウトの少年が100周年のワッペンをもらって満足な顔をしているところが、この写真のテーマであり、狙いだと思うのですが、少年の笑顔が何ともいえない、本当にうれしいという表情をしているところを1枚に写しこんだところがすばらしい。文句なしの笑顔です。



『奉仕? まるで楽しいゲームだよ』

丹生 克生 和歌山・橋本第2団ボーイ隊 副長補



☑ スカウトの日、町内清掃奉仕のひとつのゲームになります。カブ年代にとっては、奉仕も楽しいひとつのゲームになります。ゴミ拾いは宝探し。大物をゲットしたら皆からうらやましがられたり。「すすんでよいことをします」を楽しむことができます。すごいですか!

🗨 カブスカウトたちが清掃活動をしている情景を撮っているのですが、きわめて和やかな表情で友だちと一緒にゴミ拾いをしており、楽しく活動しているだけでなく、スカウトの精神にふさわしい情景が写しこまれているので選びました。



『陽射しに輝く笑顔』



渡部 隆一

神奈川・藤沢第6団  
ビーバー隊保護者



『重さはどのくらい?』



小竹 雄志

神奈川・大和第1団  
ベンチャー隊隊長



『楽しかった川登り!』



時田 洋輔

山梨・甲府第6団  
カブ隊副長

総評/少年の部は一生懸命考えて作り上げて撮っている作品が多いのですが、考えただけだと写されている人の表情が狙いと合わない部分が出てきてしまいます。考えたものに加えて、それをいかに自然な躍動感を入れ込んで写すことができるか、日常の行動の中に考えたものが入ってくるとすばらしい写真が生まれ出すと思います。

青年・成人の部は狙いとスカウトの行動とがうまくフィットしている作品が多かったです。少年の部と同じようにいえるのは、考えて画面構成をただで撮影したものは、人々の魂や行動、感動が写しこまれない。それが写しこまれたものが上位に入っています。やはり写された人たちが、感動して行動している表情を写すとすばらしい作品が生まれます。

例えばこの『プライスレス』という作品であれば、ただ鼻にシールをつけて撮っただけではつまらない。鼻にシールをつけてもらった子どもの「おもしろい」「うれしい」という表情が写しこまれているから素敵な写真になっているのです。



『森の王者 カブスカウト』



松谷 篤志

東京・武蔵野第1団  
カブ隊副長



『隊長のおはなし』



西林 真一

兵庫・姫路第18団  
ビーバー隊副長



『職人の眼』



北川 勝久

富山・南砺第3団  
ボーイ隊隊長



『募金おねがいします』



芦澤 敬三

長野・長野第15団  
カブ隊副長

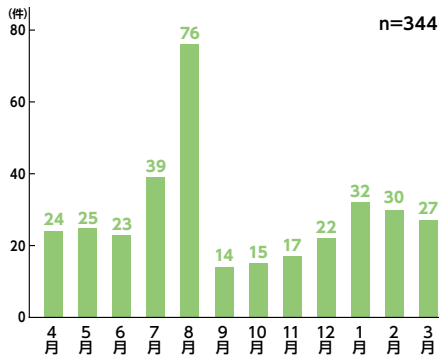
■野外活動のための安心・安全講座

2017(平成29)年度

# そなえよつねに共済 事故データ分析

「そなえよつねに共済」で取り扱った事故データを分析した結果をまとめましたので報告いたします。2012年度から全加盟員が保険(2014年度からは共済)対象となり、ボーイスカウト全体における事故の傾向が把握できるようになりました。事故発生件数(報告件数)は昨年より39件少ない344件で傷病の延べ数は452件でした。いくつか気づいた点をコメントしましたので、安全管理の参考にいただければ幸いです。

## 発生月別



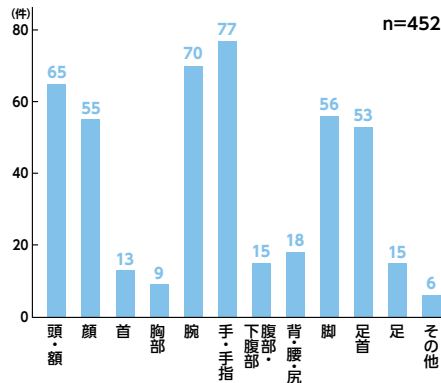
8月に事故発生件数が多い傾向は例年と同様です。全事故件数の22.1%を占めています。8月の事故を分析すると、76件中60件が夏季活動(舎営や野営中)に発生しています。舎営では就寝後にトイレに行こうとした際の2段ベッドからの転落や段差での転倒などが発生しています。野営ではナタによる切り傷、火元でのやけどが多く発生しています。またマダニによる被害も気になりました。

冬季の活動においても事故発生件数が多く、スキー、スノーボード、スケートによる事故が中心です。51件の事故が報告されていますが、スカウトによるものが28件、指導者によるものが23件です。指導者は特にビーバースカウト隊、カブスカウト隊の指導者を中心に事故が発生しています。

## 部門別上位3傷病

	1位	2位	3位
スピカウパー	骨折 (9件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷 (4件)	裂けた傷 (3件)
スカウト	骨折 (33件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷 / 擦り傷 (各12件)	打撲 (9件)
スカウト	切り傷 (29件)	骨折 (24件)	やけど (15件)
スカウト	打撲 (7件)	骨折 (6件)	裂けた傷 (5件)
スピカウパー	切り傷 (4件)	骨折 / 脱臼・捻挫・靭帯損傷 (各2件)	裂けた傷 / 打撲 (各1件)
指導者	脱臼・捻挫・靭帯損傷 (40件)	骨折 (39件)	裂けた傷 (13件)

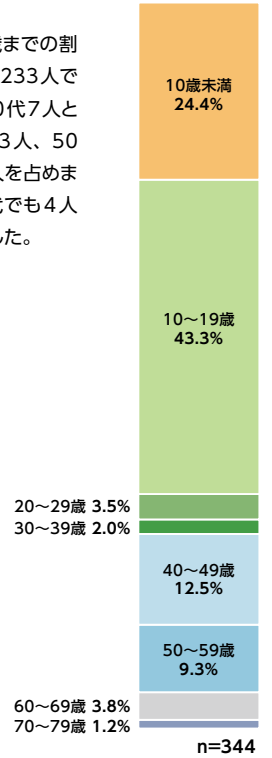
## 部位別(延べ数)



頭部、上肢、下肢のケガが多いという結果です。頭部へのケガは転落や転倒、激突による打撲や切り傷です。頭部へのケガは命に関わる可能性も高いため、活動前に安全に対する十分な検討が必要です。

## 年代別

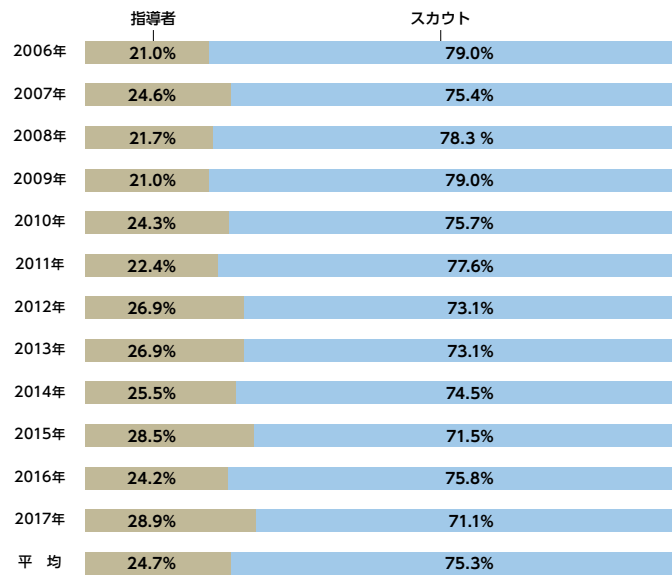
年代別では、19歳までの割合が67.7%にあたる233人でした。20代12人、30代7人と少数ですが、40代43人、50代32人、60代13人を占めました。今年度は70代でも4人の事故報告がありました。



## 部門別

部門別の傾向はビーバースカウトが3%増加、カブスカウトが7.2%減少でスカウト全体としては68.5%と、昨年より5%減少しました。一方、全事故に占める指導者の割合(非加盟員を除く)は28.9%と昨年より増加しています。

### ■指導者/スカウトの事故発生割合の変化





## 活動内容

ビーバースカウト部門での事故1位は「休憩中・自由時間等」で11件、2位は「移動中」で4件でした。ここ数年気になることは、休憩中・自由時間等の事故発生です。指導者は「休憩時間は休憩をする時間である」という認識ですが、スカウトは自由に遊べる時間であると認識していることに注意しましょう。

カブスカウト部門での事故1位も「休憩中・自由時間等」の21件で、2位は「スケート」で13件でした。練習中に転倒し骨折するなどが多くみられます。

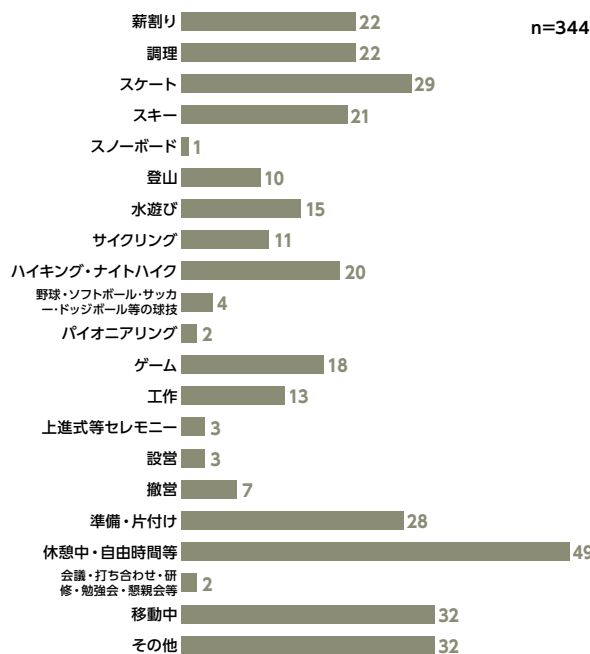
ボーイスカウト部門での事故1位は「薪割り」で16件でした。ナタによる切り傷がほとんどです。安全保護具の着用のみならず、薪割りの基本的な方法を周知するなど安全対策を十分に行う必要があります。2位は「調理」で11件でした。

ベンチャースカウト部門での事故1位は「調理」「サイクリング」「移動中」でそれぞれ3件でした。サイクリング中の事故は、転倒による頭部強打など命に関わる可能性が高い事故です。ヘルメットの装着はもちろん、自転車の安全な乗り方などを今一度確認しましょう。

ローバースカウト部門での事故1位は「ハイキング・ナイトハイク」「撤営」「準備・片付け」でそれぞれ2件です。

指導者の事故1位は「移動中」で14件でした。2位は「スケート」で13件、転倒による事故がほとんどで、骨折など重症化する傾向がみられます。

■ 活動内容と事故発生件数



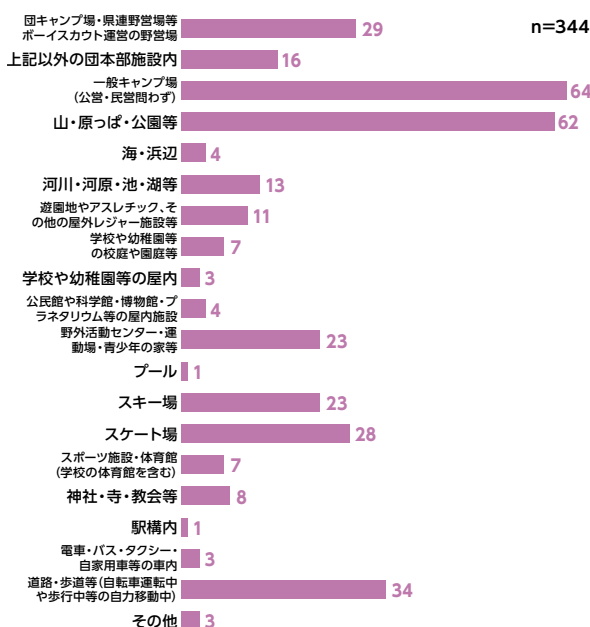
■ 部門別 最も事故が多かった活動内容

部門	プログラム
ビーバースカウト	休憩中・自由時間等 (11件)
カブスカウト	休憩中・自由時間等 (21件)
ボーイスカウト	薪割り (16件)
ベンチャースカウト	調理、サイクリング、移動中 (各3件ずつ)
ローバースカウト	ハイキング・ナイトハイク、撤営、準備・片付け (各2件)
指導者	移動中 (14件)

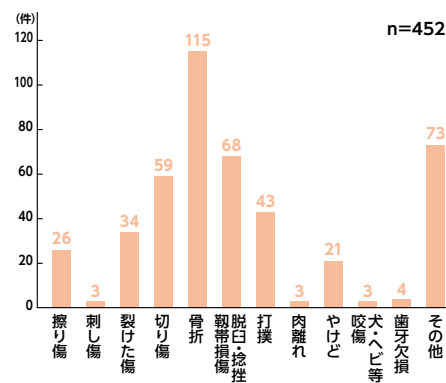
## 発生場所

事故が最も多かった場所は「一般キャンプ場」64件でした。キャンプ場や山・原っぱ・公園等で事故発生が多いことから活発に屋外にて活動していることがうかがえます。安全対策を十分に行いましょう。

■ 発生場所と件数



## 傷病別 (延べ数)



傷病別では「骨折」の割合が最も多く、昨年より10件減ではありますが、115件で第1位でした。第2位は「脱臼・捻挫・靭帯損傷」で昨年の67件から1件増の68件でした。第3位の「切り傷」は昨年の48件から11件増の59件でした。これら3傷病で全傷病の53.5%と半数以上を占めています。

傷病数の分布はここ数年変わりません。保護具の着用や適切な服装、決められた安全対策をしっかりとすることで切り傷や打撲、やけどなどを防止することができます。

## まとめ

共済事業に移行してから、全体的な傾向は変わっていませんが、いくつか気になる点があります。

第一に、全事故発生件数のうち指導者の事故が28.9%となり過去12年間で最も高い結果となりました。例年は準備中に起こる事故などが多い中、今回のデータではスケート中などプログラム内での事故が数多く報告されています。また事故による受傷として脱臼・捻挫・靭帯損傷、骨折など重傷化していることがわかります。まず指導者がケガをしないこととリスクの低減に努めてください。

第二に、ボーイスカウト部門での薪割り中の事故が増加していることが懸念されます。周囲への安全配慮だけでなく、作業するスカウトがケガをしないよう保護具の着用を徹底してください。また薪割りの方法を言葉で伝えるだけでなく、見本を示して相手が理解できるよう努力をすることも有効な安全対策ではないでしょうか。

最後に、休憩中・自由時間に多くの事故が発生しています。特にビーバースカウトやカブスカウトにとっては休憩時間イコール自由に遊べる時間という認識でいます。ビーバースカウトやカブスカウトは、指導者の予期しない行動をする可能性がありますので、休憩時間だからといってスカウトから目を離すことのないよう、起こりうるあらゆる可能性を考え、安全で安心できる活動を行う努力を怠らないようお願いいたします。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

# 2019年度 全国大会

15回目の開催となる全国大会。今回は、鹿児島県連盟のほか九州・沖縄ブロックの各県連盟の協力を得て、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた研修や情報交換の場として開催いたします。

[テーマ]

## Creating a Better World

(より良い世界を創ろう)

～ 活動的で自立した青少年を育てよう!! ～

■ 日程 / 5月25日(土)～26日(日)

■ 場所 / 鹿児島・鹿児島市

[主会場] 鹿児島市民文化ホール  
〒890-0062 鹿児島市与次郎2-3-1

[交歓会] 鹿児島サンロイヤルホテル  
〒890-8581 鹿児島市与次郎1-8-10

- 主催 / 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 開催県連盟 / 日本ボーイスカウト鹿児島県連盟
- 開催協力 / ボーイスカウト九州・沖縄ブロック

## ■ 全国スカウト教育会議 (テーマ集会)

5月26日(日) 9:00～12:00

テーマ① 100周年に向けて加盟員増加を目指して!

テーマ② 部門の見直しに伴うプログラム実証の取り組みについて

テーマ③ すべての指導者にスカウトスキルを  
～スカウトスキルを使って楽しい活動を～

テーマ④ 実践しようセーフ・フロム・ハーム ～スカウトたちの笑顔のために～

テーマ⑤ 次世代につなげるスカウト運動セミナー【九州・沖縄ブロックの方対象】

テーマ⑥ 第1部 ローバー対象セミナー

第2部 世界のローバーはどんな活躍をしているのか

テーマ⑦ 薩摩の郷中教育とボーイスカウト

テーマ⑧ 鹿児島県連盟野営場と薩摩藩英国留学生記念館見学研修ツアー

※テーマ⑧は場外ツアー。午前と午後の2部制。別途、鹿児島県連盟へ申込(要参加費)。

## ■ スカウティングエキスポ (展示、体験コーナーなど)

5月25日(土)～26日(日)

スカウトショップはもちろん、各県連盟や団体、さまざまな体験ブースなどを展開します。皆さまのご参加をお待ちしています。



© 鹿児島市

## セーフ・フロム・ハーム 「指導者バディールール」について

日本連盟では、「セーフ・フロム・ハームガイドライン」を本年2月20日に更新し、「指導者バディールール」を追加しました。

### 指導者バディールール

安全で安心できるスカウト活動のために、指導者は複数人で活動を行います。

- スカウト活動、あるいは活動外においてもスカウトと指導者が1対1にならないようにします。
- 集会の集合時においては、2人以上の指導者が事前に集合場所にいるようにし、スカウトと指導者が1対1にならないようにします。
- キャンプや舎営の折、スカウト就寝時の点検については、必ず2人以上で行います。
- オンライン通信(SNS)、ソーシャルメディアなどについては、他の指導者または保護者も登録されている中で利用します。

セーフ・フロム・ハームガイドラインは、主に指導者の心構えについて示してきましたが、このルールは実際の仕組みとして、団内において関係者が協力し合う必要があります。このルールの導入は、スカウトたちに危害を加えるような行為を防ぐためのものであり、このルールを遵守するには、

- (1) 指導者が十分にこのことを理解し、対応すること。
- (2) 保護者にもこの取り組みについてご理解いただき、実施に向けての協力をお願いすること。
- (3) スカウトにも年代に応じた説明と対応を指導すること。

などが必要となります。詳しくは、日本連盟ホームページに掲載していますが、各地区や県連盟が開催する、2019年度の「セーフ・フロム・ハームセミナー」でも取り扱います。セミナーに参加し、より安全で安心な活動に取り組みましょう。

※セミナーの開催情報は、地区や県連盟にご確認ください。





## 「スケッチ」という 自然観察



子どものときから、室内で絵本を読むよりも、外に出て友だちと走りまわり、身体を使う外遊びが大好きだった。学校に通うころになっても、図書室ではシートン動物記やシャーロックホームズの文字づくめの書物より、もっぱら図鑑コーナーに通いづめの少年で、なにより、難しい漢字などが読めない子どもにとっては、解りやすいイラストのほうが「百聞は一見に如かず」であり、理解が即可能だった。

中学校時代から始めた野外でのスケッチは現在に至るまで続いている。多くの風景をはじめ出会った動植物たち、バイクや自転車、車などの遊び道具の数々、それらを使って出会えたアウトドアの旅での大自然の四季の移り変わりなど、森羅万象の多くを観察しながら描き残してきた。

そんなスケッチの旅を続けていたとき、あることに気がついた。

普通の人なら、河原に落ちている1個の小石を1時間ジーンッと見続けることはないだろうしできないだろう。でも、絵を描きスケッチする者にとっては1時間などへのカッパ。1個の小石を描きながら2〜3時間でも見続けることは可能なのである。

ある春の晴れた日、雪解け水の流れる小川の河原をスケッチしていた。最初に、目の前にある

大きな岩を描き、次に脇を流れる沢を描く。次に向こう岸の岩壁手前の崩れた石たちを、その次に上に生い茂る緑の木々たち、遠くの沢の流れ、そして最後に目の前の岩の手前



に重なる大小の石たちと堆積した細かい砂、その砂に筆がたどりついたとき、ハッと気がついた。

手前にあるこの大きな岩は、かつては向かい側の岩壁が崩れた岩であり、それ以前は大きな岩山の一部だったことを……。ということは、目の前のこの景色になるまでに何百年もかかったのだらう……。そして、この足元に堆積している細かい砂になるまでに、どれだけの沢水に流され、多くの岩にぶつけられ、細かい小石に砕かれ、いまここにある砂になるまでに何千年かかったのだろうか……。と。

その想いから、かつて友人にももらった小さなアンモナイトの化石を思い出していた。

アンモナイトは世界中のあらゆる古代層から発見される化石で、その友人はヨーロッパのスイス・アルプスの小さな街で土産品として手に入れたという。

スイス・アルプスといえば標高4,811mのモンブランを最高峰とする高い岩石のジュラ山脈である。ジュラ紀といえば恐竜や始祖鳥が闊歩し飛びまわっていた1億5,000年前の時代。しかもアンモナイトは海洋生物なので、ジュラ紀のころは今のスイス・アルプスは広い海の底だったのだ。

日本でも北上地方、四国や山口県、福井県そして北海道のジュラ紀層や白亜紀層の古代層からアンモナイトの化石が数多く発見されている。つまり日本の各地も1億5,000年前も昔は海の底だったのである。

何気ない景色を見つめたとき、「スケッチ」としておして数千年前から遥か1億5,000年前のジュラ紀の時代まで、時空を超えた想いを描ける。この喜びの感覚は、自然を見つめ観察することから発する「知る喜び」につながるのかも知れない。タイムマシーンここにあり！だね。

イラスト&文：伊東孝志

いとうたかし／南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学57年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先以北斎を見つめ、水彩の楽描(らくがき)を糧として、奄美・沖縄・東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。

●伊東孝志ブログ「道草楽描/みちくさらくがき」～ <http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

## 信仰奨励

### 感謝に満ちた生活で 心を豊かに

信仰奨励委員会 八巻 知子

今回は「感謝」について考えてみたいと思います。「今さら何を?」と思われるかもしれませんが、指導者の皆さんはスカウトに「感謝」についてどのように話をし、どのように実践に導いていますか?

「おきて」のひとつに「『スカウトは感謝の心をもつ』スカウトは、信仰をあつくし、自然と社会の恵みに感謝します。お礼の心で、自然をいつくしみ、社会に奉仕します」とあります。ビーバー年代では「きまり」、カブ年代では「さだめ」の中に想いが込められています。

では、何に感謝をするのでしょうか?

家族や友だちから恩恵をいただくことへの感謝、大自然からいただく感謝、食物や植物からいただく感謝、数えれば限りなく身近で見つけることができます。

スカウト活動の時だけでなく、忙しい日常生活の中で、大人である私たちがどれだけ「感謝」を意識した生活ができていくのでしょうか? 嬉しいことや楽しいことがあれば笑顔になり、哀しいことや不快なことがあれば表情が曇る。人間は喜怒哀楽があり、正直な生き物です。

私の信じる信仰の教えの一節に「感謝が感謝を生み、不平が不平をよぶとはまさに真理だ。何となれば常に感謝をしている人は自然幸福者となり、常に不平不満や愚痴を言う人は不幸者になる。喜べば喜び事が来るぞよ」とあります。私がいつも立ち返ることのできる一節です。私たち指導者自らが、まず小さなことから感謝できる生活を送り、体感できたことを隊集会等でスカウトの目線に立って話しましょう。スカウト一人ひとりが「感謝」に満ちた生活をする事ができれば、家庭はもとより地域社会全体に感謝の輪が広がり、心豊かな人格が形成され、人と社会に役立つ人材へと成長していくものと信じます。

そして何よりも指導者の皆さん自らが明確な信仰をもっていただき、明確な信仰に基づいた心・言・行を実践することによって必ずやスカウトに想いが伝わっていくと思います。



# ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

## 鳥取 □ テレビ放送の仕事体験

倉吉第3団 カブ隊副長 福田 京子

日本海新聞 (2019.2.13)

2月11日(月・祝)、倉吉第3団カブ隊が組集会の一環として地元のケーブルテレビ局を訪問し、テレビ放送の仕事体験しました。

テレビ局スタッフの指導のもと、アナウンサー、カメラマン、スイッチャーなどの仕事を体験。最初は緊張してドキドキ。なるべく原稿を見ないでカメラのほうに顔を向けるのに苦戦する場面もありましたが、徐々に慣れてスムーズにできるようになり、みんな笑顔いっぱいに取り組みました。

通常、休日は見学の受け入れをしていますが、今回はボーイスカウト活動にご理解とご協力をいただき、実現することができました。



ニュースの放送現場を体験するカブ隊員たち。11日、倉吉市上井町1丁目の日本海新聞多目的スペースへから

ボーイスカウト倉吉第3団カブ隊が11日、倉吉市上井町1丁目の新日本海新聞社中部本社・日本海ケーブルネットワーク(NCN)倉吉放送センターを訪れ、昨秋に完成したオープンスタジオとしても活用できる多目的スペースで、放送機器を使ってテレビ放送の体験をした。施設や会社見学など同団の活動の一環。小学3〜5年の児童で組

倉吉放送センターを訪れ、昨秋に完成したオープンスタジオとしても活用できる多目的スペースで、放送機器を使ってテレビ放送の体験をした。施設や会社見学など同団の活動の一環。小学3〜5年の児童で組

## テレビ放送を体験

ボーイスカウト倉吉第3団カブ隊が11日、倉吉市上井町1丁目の新日本海新聞社中部本社・日本海ケーブルネットワーク(NCN)倉吉放送センターを訪れ、昨秋に完成したオープンスタジオとしても活用できる多目的スペースで、放送機器を使ってテレビ放送の体験をした。施設や会社見学など同団の活動の一環。小学3〜5年の児童で組

と声を掛けられていた。驚見亮吏君(10)は「カメラの操作が面白かった。スタジオでもカメラマンがたのんでいることが分かった」と話した。(吉浦雅子)

## 兵庫 □ 我が団のスカウトが相撲界へ

加古川第2団 ボーイ隊隊長 中田 直文

兵庫連盟はりま地区加古川第2団ボーイ隊の大辻君が、今春、大相撲高田川部屋へ入門することが内定し、2月17日(日)に団をあげて壮行会を行いました。ビーバー、カブを経てボーイ隊に上進した大辻君は小学2年生から相撲をはじめ、「わんぱく相撲全国大会」でも好成績をおさめてきました。さらに中学校では全国大会で準優勝するなど、将来有望な逸材です。

相撲は国技であり、技能はもとより礼儀や品格も求められます。「ちかい」や「おきて」にも通じるところがあります。心技体いずれも厳しい世界ですが、これも自分で選んだ道。横綱を目指して頑張ってもらいたいです。

壮行会では皆で寄せ書きをしたネッカチーフと活動写真のアルバムを記念品として贈りました。これからはファンをはじめ、たくさんの人に支えられて相撲を取ることにしたいと思います。ここまで育ててくれたご家族、親方への感謝の気持ちを忘れず、そして何より怪我をしないような体をつくり上げ、相撲道を究めてもらいたと思います。 弥栄



## 高知 □ ボーイスカウト体験イベントに74人が参加!

高知第8団 団委員長 永野 隆史

3月24日(日)、桜の開花宣言直後の高知城にて、ボーイスカウト体験イベント「忍者になろう」を開催しました。小学校低学年を中心に74人の参加があり、高知城のあちらこちらから、ちびっこ忍者の楽しそうな声が聞こえました。日本連盟団支援・組織拡充委員会の方々や、県外のローバースカウトにおおいに盛り上げていただき、大盛況のうちに閉会しました。

また、同日、菊スカウト章の授与式を行いました。高知県連盟では15年ぶりの菊スカウト誕生です。日本連盟団支援・組織拡充委員長より、菊スカウト章の授与をしていただき、また盛大な「弥栄」を受け、スカウトにとっても、私たち高知第8団にとっても記憶に残る素晴らしい授与式となりました。

私たち高知第8団はようやくスタートラインに立ったところです。一人でも多くの仲間を増やし、高知にボーイスカウトの輪を広げていきたいと思っています。







ボーイスカウトPRムービーコンテスト2019

# 集え、 クリエイター

[募集期間] 7月1日(月)～9月30日(月)

## テーマ



## コンテスト詳細

### ■ スケジュール

募集期間：7月1日(月)～9月30日(月)

選考期間：10月中

結果発表：11月上旬(予定)

※ 審査結果は本誌11月号および日本連盟HPにて発表する予定です。

### ■ 応募資格

本コンテストへの応募資格は、以下のとおりとします。

- ボーイスカウト運動の目的に賛同する者(加盟員である必要はありません)。
- 本コンテストの要項に同意している者。
- Youtubeへの動画投稿が可能なアカウントを所有している者(本コンテストのために新規獲得したアカウントでも可)。

※ 応募者が未成年の場合、保護者または指導

者の同意が必要です。必ず事前に同意を得たうえで応募ください。

### ■ 作品の条件

- 1 ボーイスカウトのPRになる内容であること
- 2 10秒以上90秒以内であること
- 3 他者の著作権、肖像権等を侵害していないこと
- 4 未発表であること

### ■ 賞品

最優秀および優秀に選ばれた作品の応募者には、協賛企業よりご提供いただく賞品をお贈りいたします。

### ■ 殿堂入り紹介

今回新たに「殿堂入り」を新設します。

前回までのムービーコンテスト入賞作品の中から、再生回数により「殿堂入り作品」を決定し、殿堂入りした作品は、日本連盟ホームページのムービーコンテスト特設ページへ掲載する予定です。

ムービーコンテストの締め切りに合わせ、9月30日(月)時点の再生回数で決まります。審査員はあなた!

今後、各テーマのサンプル動画や、動画の作り方解説などをWebで公開していきます。詳細は、Webをご覧ください。



## スカウティングと観察・推理 ①

# 観察し推理する力。 それが「冒険」への パスポート。



何物をも見逃さないスカウト  
(1908年、6分冊で出た最初の  
"SCOUTING FOR BOYS"  
第3分冊の表紙より)

スカウト活動の大きな魅力のひとつに、「安全を前提とした、野外での冒険的プログラム」があります。

そのような活動で欠かせないのが、スカウトの「観察と推理」の力。今年度は、「スカウティングと観察・推理」について連載します。今号ではまず、スカウト運動の創始者であるベーデン・パウエル (B-P) の著作から「観察と推理」とは何かを学んでみましょう。

## B-P に学ぶ「観察と推理」

### ●「冒険」を楽しむために

「冒険」は日帰りのハイキングから始まり、年齢別の部門が上がるにつれて、スカウトたちは野外活動の「知識・技能・心構え」を身につけ、仲間と力を合わせてウッドクラフトの腕を磨き、パイオニアリング、スノーキャンプ、ケービング、カヌーツアー、ロングトレイル踏破などの高度な野外活動「ハイアドベンチャー」を目指します。

「冒険」を安全に成し遂げ、よい思い出を残すためには、まずしっかりとした計画が前提です。そして、野外に出ると、天候や地形などの自然の様子、ルートやキャンプ地、自分や仲間の体調をみるなど、さまざまな面での「観察と推理」の能力が必要になります。

では、観察し推理するとはどのようなことでしょうか。大先輩に聞いてみましょう。

### ●スカウトの観察とは——小さなサインを読む。

B-Pは著書『スカウティング フォア ボーイズ』(日本連盟訳・発行)の「第4章 追跡法」の冒頭で「サインの観察」として、

「サイン」という言葉は、足跡、折れた小枝、踏みつけられた草、食べ物の残り、1滴

の血、1本の頭髮などのような、探している情報の手がかりに役立つような、あらゆる小さなもの——を意味するものとしてスカウトは使っている。

と述べ、さらに「サインに気をつける」と題して、

〔前略〕スカウトとして覚えなければならない最も大切なことの一つは「何物も見落とさない」ということだ。小さなサインを見つけて、その意味を読まなければいけない。どんなものにも目をつけ、何物も見逃さない習慣を身につけるには、初心者はずん<sup>いなか</sup>と練習を積み重ねなければならない。都市にいても田舎にいても、この練習はすることができる。

と続け、このあと、音や臭いにも注意し、そのサインに注目することを求めています。

B-Pは「追跡」を主題にして記述しており、ここでは地上の「小さなもの(原文は little details)」と表現されていますが、野外で観察する広大な空や地形も、細部にまで注目することと解釈できるのではないのでしょうか。また細部の変化、変わったサインに注目できるのは、通常との差異に着眼することであり、普通

の状態を知っておくことが必要だといえるでしょう。日ごろの観察が大事です。

### ●スカウトの推理とは——サインを結び合わせる。

B-Pはさらに、同じ「追跡法」の章の「サイン」の読み、推理」の節で、

スカウトが「サイン」を観察することを覚えたら、次には見たサインをあれこれ結び合わせて、その意味を読みとることを学ばなければならない。これを推理という。

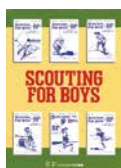
と、明解に「推理」を定義しています。

### ●「観察と推理」を少年の習性とする。

さらに『隊長の手引』(日本連盟訳・発行)の中では、「第II部 市民性へのスカウティングⅢ ハンドクラフトと技能」という章の「知性」の節を「観察と推理はあらゆる知識の基礎である」と始め、以下のように述べています。

観察力は要するに、少年が訓練されるべき習慣である。追跡は観察力を身につけるために興味を起こさせる一つの手段である。推理力は、観察したものから、推論をした

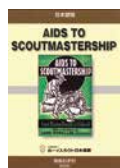
## 参考図書／ベーデン・パウエルの著作



### 『スカウティング フォア ボーイズ』

翻訳・発行 日本連盟 / 1980  
年改定版 / 1,512円(税込)

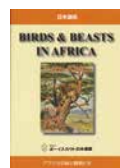
スカウト教育の基本図書。「観察と推理」について豊富な実例とともにポイントを押さえて解説してある。原本は1908年刊。原文はネットで簡単に参照できる。



### 『隊長の手引(新訳版)』

翻訳・監修 於保信義・小倉匡平・中野まり / 2006年 / 日本連盟発行 / 719円(税込)

原本は“Aids to Scoutmastership”(1919年刊)。タイトルどおり、スカウト教育の現場を担う隊長へのガイドブック。ボーイスカウト運動とは、慈善や福祉運動そのものではなく、より良い社会を支える人間を育てる教育運動であることがよくわかる。



### 『アフリカの鳥と 動物たち』

翻訳 飯岡美紀 / 監修 世界スカウト運動100周年記念行事推進委員会 / 2007年 / 日本連盟発行 / 800円(税込)

B-P 晩年のエッセイ集。ケニアの大自然の中の草木鳥獣だけでなく、その地の人々の生活も心温かく描いている。自筆イラスト多数。観察と推理の力があれば、人生いつまでも楽しい。

(3冊ともスカウトショップで発売中)





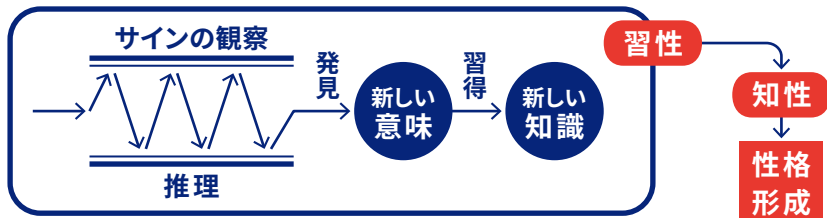
後で意味を引き出す技術である。

少年が一度、観察力と推理力を習性として身につけたなら、それは性格形成において大きな進歩を遂げたことになる。

このあとB-Pは、「追跡と追跡ゲームの価値は容易に確認できる。野外での追跡や、足跡や集會室での追跡に関する講義はあらゆる

スカウト隊で奨励されるべきである」と続けています(ゲームや講義の具体例は「スカウティングフォア ボーイズ」に多数収録されていますので参照してください)。

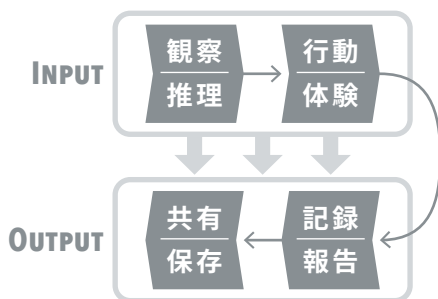
以上、B-Pが「観察と推理」をスカウト教育法としてとても重要視していたことを追跡し、それを下にまとめ、少し補足してみました。



スカウトは、観察と推理を繰り返し、新しい意味を引き出し、知識を得る。そのプロセスを習性として、次の行動を導く知性を築く。次の行動は新しい体験となり、何かを学ぶ。「観察と推理」の指導は「行うことで学ぶ」というスカウト教育法(本誌2019年3月号参照)の基盤といえるのではないのでしょうか。

楽しくて安全な野外体験はそれだけで終わらず、スカウトの人格の成長をより一層促すことでしょ。とはいえ、若いスカウトの関心は自分の成長より、次の挑戦では? 隊指導者としてはまず、観察と推理の重要性と具体的なスカウトスキルを教え、スカウトのハイアドベンチャーへの旅立ちをサポートしましょう。

## さらに、考えておきたいこと



### 「観察と推理」をアウトプットする。

- スカウトが観察し体験したことは、本人にとって「インプット」です。「インプット」の内容は、それを「アウトプット」してみると、より確実に身につくといいます。観察から体験までの経過と結果を記録し、報告するのです。
- 記録や報告には図解、図表、写真などを使うと便利で効果的ですが、口頭でせよ文章にせよ、言葉を使って表すことを大切にしたいものです。まだ「一人前」ではないので、稚拙な表現も多いでしょうが、自分の言葉で表現することは、自分の観察と推理、行動と体験をより明確に自覚することになります。
- 観察し行動した客観的事実と主観的な推理や感想を書き分けることも大事であると、能力に応じて教えましょう。
- 報告データを共有し保存することは、もち

ろん行程や経費など次の計画の具体的な参考になるだけでなく、失敗に学ぶなど、スカウトや班の個別の「体験」を隊や団の共有の「経験」とすることとなります。また、スカウトの保護者をはじめとする育成会員の理解と支援を得ることにもつながります。

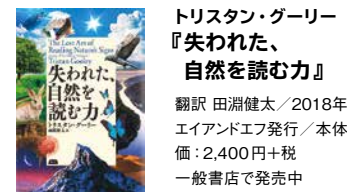
### スカウトそれぞれの能力に配慮する。

年齢はもとより、視力や聴力、物事を言葉で表す力などは、障がいの有無にかかわらずさまざまです。スカウト本人の努力だけに頼らず、適切な助言、観測や記録用具の工夫、仲間の助力などをよく検討し、配慮しましょう。

### 推理、予測は外れることもある。

スカウトの「冒険」は、無事に帰還することが前提です。

観察が十分ではなかったり、グループ内外で事故が起きたり、天候の急変などにより、推理(予測)が途中で行き詰まることがあります。そのようなケースに備え、優先順位をつけた大まかな選択肢を常に考えておこう、スカウトにアドバイスしましょう。また、「現場」ではその選択の内容を仲間とよく話し合い、言葉で共有しておくこと、失敗は反省の材料として必ず記録し、報告をすることも伝えておきましょう。



トリスタン・グリー  
『失われた、  
自然を読む力』

翻訳 田淵健太 / 2018年 /  
エイアンドエフ発行 / 本体定  
価: 2,400円+税  
一般書店で発売中

草木の植生、天候の変化、星座や月、天体の動きなど、自然の示す方位指標を読み取りながら広野を歩くためのガイドブック。GPSや地図、コンパスは使わないが、人工の物を使わないことが目的ではない。著者は、人類はどのようにして自然と付き合い、移動をしてきたのか、現代人が失ったものは何かを知る旅を始める。ボーイスカウトの指導者には、おおいに参考になる一冊。

著者はイギリスの作家で探検家。徒歩旅行の達人。著書に『The Natural Navigator』(2010年 邦訳本あり)などがある。ホームページも参照のこと。

## 5名様に読者プレゼント!

出版元A&Fのご協賛により、この本を指導者5名にプレゼントします。ご希望の方は「スカウティング5月号『自然を読む力』応募」と件名に記入のうえ、①氏名 ②所属団と役務 ③登録番号 ④送付先住所 ⑤本連載のご感想やご意見をお書きのうえ、5月13日(月)までに下記アドレスにお申し込みください(いただいた個人情報はこのプレゼントの発送以外には使用しません)。希望者多数の場合、本誌編集部で抽選の上、5月中にいただいた住所にお送りいたします。発表は発送をもって代えさせていただきます。ふるってご応募ください。

メールアドレス [scouting@scout.or.jp](mailto:scouting@scout.or.jp)

## すぐに役立つヒント集



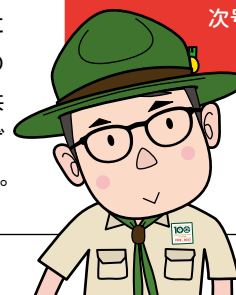
SCOUTING別冊  
『ボーイスカウト  
スカウトスキル・  
セレクション』

2016年 / 日本連盟発行 / 1,500円  
(税込) / スカウトショップで発売中

『スカウティング』誌のスキルに関する連載を集成したビジュアルムック本。すべてのスカウト活動に関わる「観察と推理」とは何かが具体的にわかる。室内工作からゲーム、ウッドクラフト、ハイアドベンチャーまで、さまざまな紹介記事は、きっと隊のプログラムを豊かなものにするだろう。

指導者としては、スカウト以上の観察と推理の力を持ち続けるよう、スキル研鑽に励みたいものです。とりわけ、指導者として活動の予定地の下見をする場合は、スカウトが現地にはいないわけですから、より一層の観察と推理の力、洞察力が必要となります。

次号では「スカウトキャンプと観察・推理」を取り上げます。



維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員のの方々です。

ご支援ありがとうございます

2019年 1~2月度

【北海道】

B S 川 口 1 9  
吉 田 源 彦 B S 蕨 2  
渡 邊 伸 夫 BS埼玉連盟  
B S 北 見 2 施設管理特別委員会  
BS北海道連盟  
上川地区協議会  
(株)カッティング  
プラザナウ  
【青森】  
近 藤 勝 英  
佐 藤 正  
【岩手】  
沼 宮 内 拓 哉  
尾 形 善 且  
岡 部 洋 子  
B S 盛 岡 5  
【宮城】  
菅 野 五 郎  
【秋田】  
清 水 順 義  
熊 谷 正 司  
【福島】  
村 上 正 人  
平 澤 正 則  
【栃木】  
櫻 井 政 義  
BS栃木県連盟  
(株)プラットフォーム  
【群馬】  
健 井 文  
関 幸 子  
引 間 敏 夫  
【埼玉】  
牛 山 佳 久  
金 重 一 夫  
新 和 男  
浅 見 弘 明  
岩 田 宏  
BSさいたま13

東 政 和  
吉 村 利 信  
荒 井 俊 雄  
村 山 大 介  
岡 村 奈 奈  
浅 野 正  
武 山 昭 英  
浅 野 麻 利 子  
佐 野 弘 明  
横 溝 宏 明  
飯 盛 安 信  
道 上 隆  
田 口 美 恵 子  
平 山 充  
渋谷 達 雄  
中 島 静 香  
諸 越 邦 男  
松 浦 克 昌  
中 井 正 生  
團 城 知 道  
吉 田 良 文  
安 部 徹 進  
関 野 清 一  
吉 野 博 明  
柿 沼 保 則  
松 平 頼 昌  
小 澤 有 明  
堀 水 継 一  
佐 々 木 俊 一  
藤 村 満  
永 井 敏  
川 崎 和 夫  
茅 根 亨  
茨 田 尚  
B S 町 田 1 8  
B S 町 田 3  
B S 板 橋 2  
B S 北 1  
B S 杉 並 1 2

B S 町 田 6  
B S 墨 田 4  
B S 渋谷 9  
B S 台 東 4  
B S 江 東 3  
團 ル ス ー ル  
(株)成 寺  
町 田 タイムズ社  
(学)正 和 学 園  
【新潟】  
渡 辺 誠  
今 井 浩 二  
坂 上 洋 司  
本 間 清  
渡 辺 進  
新 発 田 ガス(株)  
【石川】  
馳 川 尚 基  
東 本 晃 一  
【福井】  
勝 倉 彰 三  
田 中 廣 昌  
松 田 有 仙  
前 川 俊 弘  
片 岡 強 一  
清 水 正 喜  
高 見 和 宏  
【岐阜】  
(株)マ ル エ イ  
【静岡】  
川 村 悦 子  
鈴 木 均  
杉 山 敏 允  
大 沼 博 政  
山 城 厚 生  
今 村 春 幸  
田 中 邦 雄  
宮 崎 貴 人  
濃 田 敏 彦  
田 中 寛  
渡 辺 聡  
ガムラ歯科クリニック  
川 村 進 太 郎

【愛知】  
氏 家 邦 政  
白 谷 康 裕  
鬼 頭 輝 久  
小 栗 宏 次  
澤 田 清  
羽 根 田 智 宏  
西 尾 浩 司  
茂 木 謙 二  
佐 藤 益 美  
鈴 木 新 悟  
五 明 伸 一  
渡 邊 誠  
B S 半 田 1 1  
B S 津 島 3  
B S 半 田 8  
B S 名 古 屋 3 0  
B S 新 城 3  
B S 幸 田 3  
【三重】  
田 口 竜 太 郎  
森 尚 美  
山 口 成 治  
喜 田 久 仁 広  
山 下 さ と し  
小 久 保 晃 伸  
BS桑名3育成会  
(株)服部工務店  
サンモーター(株)  
(株)白木技建  
鈴 鹿 機 修  
日本防災士  
三重県支部  
近畿電設工業(株)  
【滋賀】  
伴 忠 信  
崎 信 治  
岡 村 誠 子  
【京都】  
中 井 敬 二  
岡 本 和 郎  
西 野 賢 一  
岸 本 正 弘  
熊 井 猛 浩

【兵庫】  
青 木 教 至  
谷 本 秀 治  
橋 本 健 司  
荒 西 完 治  
瀬 山 宏  
佐 藤 光 弘  
高 田 真 志  
沼 田 政 子  
伊 野 操 治  
東 松 健 二  
原 田 知 典  
讃 岐 等  
山 中 弘 彬  
藤 尾 盛 二 朗  
朝 倉 美 穂  
佐 々 木 元  
梅 田 華 奈  
上 向 井 敏 伸  
菊 妻 隆 和  
【奈良】  
永 広 逸 子  
宮 脇 誠 一  
(株)永井永井憲一  
奈良トヨタ自動車(株)  
【和歌山】  
山 本 章 郎  
安 達 実  
田 中 章 慈  
森 下 正 紀  
(株)遍 照 尊 院  
【大阪】  
膳 師 功  
高 見 篤 志 郎  
塩 山 文 夫  
中 野 正  
山 地 正 展  
笠 松 養 三  
BS東大阪10  
BS大阪72育成会  
【鳥取】  
谷 本 光 正  
森 脇 昇

井 口 誠  
河 角 隆 治  
瀬 央スカウト育成会  
【岡山】  
三 宅 照 正  
立 間 勝  
星 山 正 一  
B S 都 窪 2  
【広島】  
土 本 敏 明  
横 田 光 則  
BS安佐4育成会  
【山口】  
池 田 信 幸  
和 田 昭 宏  
竹 本 博 信  
小 橋 克 哉  
【徳島】  
池 田 勝 美  
【香川】  
宮 野 義 久  
辰 野 恵 一

【愛媛】  
BS松山地区振興会  
【福岡】  
藤 田 俊 郎  
森 永 信 一 路  
岡 村 憲 人  
郡 島 三 曉  
高 瀬 勲  
小 田 房 江  
B S 北 九 州  
B S 遠 賀 3  
B S 飯 塚 1  
BS那珂川1育成会  
【佐賀】  
木 原 清 喬  
【長崎】  
藤 田 孝  
【熊本】  
外 戸 口 利 行  
【宮崎】  
豊 秀 昌 彦  
河 野 充 典

村 川 保 訓  
村 永 盛 哉  
【鹿児島】  
藤 岡 義 道  
浜 田 泉  
林 洋 市  
【日本】  
松 本 仁  
白 井 堯 子  
笠 原 功  
向 田 吉 彦  
守 口 隆 雄  
Chubb損害保険(株)  
(株)三 洋 堂  
(株)ジップサービス  
(株)ジェイティービー



マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

1~2月に入会または1年継続されたの方々です。

【北海道】  
前 谷 慎 太 郎  
【埼玉】  
脇 田 大 輔  
時 計 一 利  
【東京】  
井 村 眞 一  
深 見 泰 子  
比 地 原 草 平  
小 林 司

【富山】  
富 山 遼  
【京都】  
谷 口 平 八 朗  
【奈良】  
龍 本 高 志  
村 田 禎 章  
辻 本 有 哉  
【山口】  
岡 寺 信 政

【福岡】  
武 井 靖 行  
【大分】  
戸 高 有 基  
【日本】  
宇 都 宇 宙  
弓 場 康 平  
大 浦 秀 樹  
磯 山 友 幸

日本連盟情報 May 2019

4月上旬までの会議・研修など

2月

- 15日(金) ● 平成30年度スカウト特別海外派遣 派遣員任命式
- 17日(日) ● スカウト教育推進会議(第4回)
  - 全国防災キャラバン2018(三重)
- 19日(火) ● 100周年記念史編纂委員会(第13回)
- 21日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(2018年度第17回/通算第47回)
- 22日(金)~24日(日)
  - 高萩スカウトフィールド活用タスクチーム会議(第1回)
- 24日(日) ● 天皇陛下御在位30年記念式典 祝賀奉仕
  - 全国防災キャラバン2018(神奈川)
- 25日(月) ● 財務委員会(第5回)

3月

- 2日(土) ● 指導者養成委員会(第4回)・ディレクター会議(第5回)合同会議
  - 第24回世界スカウトジャンボリー隊長会議(第2回)
- 2日(土)~3日(日)
  - 第24回世界スカウトジャンボリー派遣団本部会議(第2回)
  - RCJ運営委員会(第4回)
- 3日(日) ● 第24回世界スカウトジャンボリー IST準備訓練(第2回) (2会場で開催)
- 4日(月) ● 日本連盟創立100周年記念事業特別委員会(第1回・拡大委員会)
- 5日(火) ● 運営会議(第11回)
- 7日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(2018年度第18回/通算第48回)

- 9日(土) ● 新任副リーダー・トレーナー研修会(東会場)
- 10日(日) ● 共済運営特別委員会(第5回)
  - 新任副リーダー・トレーナー研修会(西会場)
- 12日(火) ● 理事会(第3回)
  - 臨時評議員会(第2回)
- 13日(水) ● ボイススカウト振興国会議員連盟総会
  - スカウトと社会をつなぐ場所(第12回)
- 16日(土) ● 社会連携・広報委員会(第4回:2018年度第19回/通算第49回)
- 21日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(2018年度第20回/通算第50回)
- 21日(木)~22日(金)
  - 富士スカウト代表表敬(東宮御所)
- 23日(土) ● 名誉会議(第2回)
- 26日(火)~27日(水)
  - 富士スカウト代表表敬(首相官邸・文部科学省)

4月

- 2日(火) ● 運営会議(第1回)
- 4日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(本年度第1回/通算第51回)
- 6日(土) ● 中途退団抑止特別委員会(第5回)
- 6日(土)~7日(日)
  - 第13回日本アグーナリー実行委員会(第2回)
- 7日(日) ● 国際委員会(第1回)



## 2018年発生 自然災害への支援状況報告

昨年の夏から秋にかけて発生した「平成30年7月豪雨」「平成30年台風第21号」「北海道胆振東部地震<sup>いぶり</sup>」へご支援いただき、ありがとうございました。

※2月1日以降3月31日までに日本連盟に届いた募金(日本赤十字社等への直送分を含む)の活動報告について掲載しております(金額はこれまでの総額です)。なお、日本連盟では、3月31日をもって各募金の受付を終了しました。今後は、日本赤十字社等へ直接ご送金くださいますようお願いいたします。

※隊名や個人名等の報告でも、団名の記載があった場合には団名で紹介しています(敬称略、順不同)。あらかじめご了承ください。

### 平成30年7月豪雨

■日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金

総額 **¥8,514,730**

【埼玉】草加8 【千葉】千葉6 【神奈川】横浜10、相模原8、平塚3 【東京】大田3 【静岡】藤枝6 【兵庫】尼崎1 【大阪】箕面1

■スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金

総額 **¥292,035**

【大阪】堺25

■ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

総額 **¥84,088**

### 平成30年台風第21号

■日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金

総額 **¥915,726**

【東京】町田15 【兵庫】加古川1

■スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金

総額 **¥96,038**

【大阪】ほくせつ地区

■ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

現時点での報告はありません。

### 北海道胆振東部地震

■日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金

総額 **¥3,356,945**

【福島】福島1、福島3、福島4、会津若松1、須賀川1、二本松1 【埼玉】入間1 【千葉】流山4 【神奈川】相模原8、平塚3 【兵庫】神戸58 【福岡】古賀1

■スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金

総額 **¥603,049**

■ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金

現時点での報告はありません。

2019  
No.732  
7

## SCOUTING

次号予告 次号の「スカウティング」は、2019年7月1日発行

特集

## スカウト活動の活性化 組織拡充の取り組み

次号は、今号の特集でご紹介した2019年度事業計画のうち、組織拡充や中途退団抑止の取り組みについて、より詳しくお届けします。

なんでも募券先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局「スカウティング」投稿係  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

**投稿規定**／本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

「スカウティング」2019年5月号 No.731 令和元年5月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員長、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は回での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合は有償でお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2019 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL:03-6913-6262)までご連絡ください。

# SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌「スカウティング」のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>



# 変わること。変わらないこと。

いよいよ新しい時代の幕開け。  
この時代に、私たちは何ができるだろう。

キャンプに行って、設営して、ご飯を作って、  
ハイキングに出かけて、仲間とともに、協力して、  
語り合って、支え合って。

そんな変わらない毎日が、  
変わる時代を支える力になる。

出かけよう。今日も荷物を背負って活動へ。



## SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan

2019年度全国大会の会場でも出張販売実施。会場限定のPRグッズも有償頒布いたします。

SCOUTING 2019/5 731

スカウトイング  
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
令和元年5月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ホーイスクウト日本連盟  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03(6913)6262(代)

定価 ¥200 (税込)  
郵便振替 00130-1-66119  
口座名義 公益財団法人ホーイスクウト日本連盟

